明治二十一年十二月二十八日内務省許可（毎月[illegible]發行）

大正六年四月二十日發行

婦人衛生雜誌

第三百二十九號

婦人衛生雜誌

第三百二十九號目次

謹告

來る五月十二日(第二土曜日)午後一時より本郷區湯島高等女子師範附屬(お茶の水)東京高等女學校内作樂館に於て本會總會を開き申候間御出席被下度候也

當日は役員改選、演説、餘興等も可有之に付き萬障御繰合はせ御來會被下度希望致候

大正六年四月

私立大日本婦人衛生會

私立 大日本婦人衛生會

設立趣意書

凡そ人として此世にありては徒に生けるのみをもて足れりとするにはあらずかならずや智識を磨き人たるの本分を盡くし幸福快樂のうちに一年を送らんと皆ともに希はざるはあらじされども其身健康にあらざれば此生活を得んといと易からずこれ衛生の道の一日も忽にすべからざる所以なりとす

抑も〳〵衛生の法は一にして足らずとはいへども衣食住の改善育兒及看病法等の如きはいとも緊要の事にして皆な婦人のもつぱら掌るべき所其責任重しと云ふべし今や婦人の會合相率て起り婦人社會も漸く其の面目を改めんとするは眞に喜ばしきことなりされども夫の衛生の事に至りては更に注意を惹かざるものゝ如くまことに口惜しきことなり因りて頃日同志婦人集ひ謀り一會を設け名けて私立大日本婦人衛生會といひ毎月一回集會を開き學識經驗ある人々に衛生上諸般の講義演説談話を乞ひ互に相研究し尚之を筆記して册子を編輯し會員に分ち聊か同胞の爲めに盡すあらんとす玆に本會旨趣の梗概を敍べて廣く江湖の諸愛姉に告げ其贊成を仰ぐことしかり

明治二十年十一月

首唱者總代

私立 大日本婦人衛生會規則摘要

（明治廿二年十二月改正）

第一條　目的　本會の目的は汎く婦女子をして人生の健康を保持する方法を講究し衛生上の智識を開發せしめ随て社會全般の幸福を増進するにあり●第二條　本會は私立大日本婦人衛生會と稱し之を東京に置き地方に便宜支會を設く●第三條　本會會員たらんと欲する婦人は何人にても入會することを得●第四條　入會の節は姓名族籍住所及會員の種類を明記し本會事務所に申込まるべし入會者には會員證を交付す（交付手續卷末に詳なり）入會後轉居等あるときは速に事務所に報知せらるべし●第五條　會員を分ちて終身、特別及通常の三種とす、終身會員は一時に金廿五圓以上特別會員は一ヶ月金三拾錢以上、通常會員は一ヶ月金拾五錢を納むる者とす●第六條　男子にして本會の旨趣を贊成する者は之を贊成員とす其會費は本會員に同じ但本會に功勞ある者又は本會に於て特に贊成員たることを望みたる節は役員の協議に依り無會費とすることあるべし●第七條　會員は本會に於て毎月發刊する雜誌を無料にて受ることを得●第八條　退會せんとする者は其旨本會事務所に報知し死亡する時は親戚知友より通知せらるべし但既納の會費は總て返戻せず●第九條　本會に名譽員を置き其中より總裁一名を奉じ皇族の殿下に願出るものとす●第十條　本會に左の役員を置く會長一名、副會長一名、幹事七名、評議員三十名、書記若干名●第十一條　會長副會長幹事評議員は毎年三月の總會に於て會員の投票を以て之を選擧し書記は幹事の推薦に依り會長之を命ず但書記は都合に由り會員外の婦人若くは男子に託することあるべし●第十二條　會長は本會を總理し副會長は會長を補佐し會長事故ある時は之を代理し幹事は會務を掌理し評議員は重要なる會務を評議し書記は役員の命を受け諸記錄雜務を掌る幹事の分課を設け第一會計、第二編輯出版、第三庶務とす●第十三條　臨時指名委員の件●第十四條　會長副會長幹事評議員の任期は二ヶ年とす滿期再選することを得若し任期中缺員を生ずるときは次點者を以て補缺す●第十五條　會長副會長幹事評議員は無給とす書記には相當の報酬を給す●第十六條　集會は例會及評議員會とす集會は八九月を除くの外毎月一回とし總會は三月に之を開く若し急要の事あるときは臨時に總會を開くことあるべし又春秋二回會員相互親睦の爲め園遊會を開くことあるべし●第十七條　毎會學識經驗ある人々に衛生上の講義演説談話を囑託し會員をして隨意聽講せしむるものとす●第十八條　會員は家族の婦女若くは知己の婦人を本會々場に誘致し講義演説等を傍聽せしむることを得（但衣服は總て質素たるべき事）●第十九條　講義演説等は男子の傍聽を禁ず●第二十條　規則の改正其他重要の件議定のこと●第廿一條　毎年三月總會に於て會計の收支決算並に庶務の概要會員の増減等を報告すべし●第廿二條　本會の所有金は本會の名義を以て三井銀行に預くるものとす●第廿三條　會計の收支は總て會計擔任の幹事檢印を要するものとす●第廿四條　會計は一ヶ年毎に決算し翌年三月總會に報告すべし

支會●第廿五條　地方に於て本會々員十名以上發起者あるときは其規則を定め本會長の承認を受け支會を設立することを得●第廿六條　本會々員にして支會を設立せんとするときは發起者の姓名を記載して申出べし附後に員數增減あるときは其姓名を支會より本會事務所に報告すべし本會會員にして支會に加入したる者の會費は本會に納付することを止め支會の規定に依るものとす●第廿七條　支會には支會限りの會員を置くことを得●第廿八條　本會の雜誌は支會に囘送すべきを以て其實費を支會より本會に送付すべし支會限りの會員にして雜誌を請求する者に就きても亦同じ●第廿九條　支會は總會の都度其狀況を本會に報告すべし●雜件

第三十條　本會は毎月一回雜誌を發刊し之を會員に配附すべし●第卅一條　會員又は會員外の者にして金圓若くは寄附物品等を本會に寄贈する者ある時は本會々長の名を以て謝狀を贈り寄附者の姓名及品目を簿冊に登錄し尚本會雜誌を以て報告すべし●第卅二條　會費金は受領證を交付すべしと雖も地方會員にして小爲替又は郵券にて納むるものは受領證送費として別に返信料を添へらるべし（郵券送一割增）●第卅三條　會費は東京府下に限り毎月領收人を差出すべし地方會員は總て前金とし振替にて口座番號東京一〇六〇〇番本會事務所宛に振出しあるべし●第卅四條　會員中若し本會の障礙となるべき所爲ある者又は屢々會費を督促するも納付せざる者あるときは會長評議員會の決議を經て除名し若しくは廣告することあるべし

東京市麹町區富士見町二丁目卅二番地　私立大日本婦人衛生會

（大正六年四月二十日發行）

講演

子供と老人の骨に就て

醫學士　片山國幸

今日は何か皆さんの前でお話を申上げるやうにと云ふ會長からのお話でございましたので一旦御辭退致さうと思ひましたけれども、併し段々考へて見まするに自分の專門から致しましてどうも貴女方に又一度はお話して置いた方が宜くないかと思ふこともございますからして、それで淺學不肖を省ずお受を致すことに致したのでございます。

で世間に多くありますけれども而かも世間からして兎角放擲つて置かれると云ふのは此骨の怪我と病氣と云ふものが割合に皆さんからして輕く見られる、輕く見られても差支ないけれども、それが爲めに後で不具者になりましたり或は病氣で以て一生起つことが出來ないやうな不幸に終はると云ふやうなのは大抵手後れと云ふやうなことが原因を多く致して居るのであります、で彼樣な次第でお子さんは不具者になり、又御老人は始終お肩が痛いとか或はお腰が痛いとか言はれて、それも直ぐに癒る筈のものも却て治らないで皆家内中澀面をして居るやうなことになるやうな又現在さう云ふやうな事が多いやうに考へられるのであります、今日お集りの方には過去、現在或は將來に於て一家の主婦となられ或は是からなられる方々でありますからして、此お集を利用すると申しては恐多いのですが、此機會に是非此お話をして置いたならば或は又社會の爲めにもなりはすまいかと斯う考へた次第でございます。

で若い方々勿論怪我も病氣も隨分多いのでありますが、併し其病氣の性質及怪我の原因と云ふやうなことは普通解り易いものであります、然るに小さなお子さん及御老人の骨や關節の病氣或は怪我と云ふものは却々其原因が一定致しませぬ、言ひ換へればさう云ふやうな患者の方に逢ひまして吾々が診察をして診斷を付けるにも甚だ苦しむことが多いのであります、況して御家庭に於てお子さんが怪我をなすつたり御老人が脚腰でも痛いと云ふやうな場合には却却お解りにはなるまいと思ふのであります、而かも其結果がどうであるか、それならば放擲つて置いたら段々癒るかと云ふに案外癒らない、それで今日は大體此骨と云ふものはどんな物であるか、人間の體の內で骨はどう云ふ風に組立られて居るか又それにはどう云ふ怪我が多いか又どう云ふやうな病氣があるかと云ふことを申上げやうと思ひますが、一々之を擧げれば際限の無い事でございますから普通日本で多く見ましたものに就きまして又貴女方に御注意を願ひ又注意して戴かねばならぬと云ふ事に就いてお話を申上げてさうして凡そ大體の知識を御了解なすつて下されば私の大に光榮と致すところでございます。

先づ人間の體に骨が幾つあるかと申しますと大約二百ばかりあるのであります、是が互ひ〳〵の關節を爲してさうして聯結されて居るのであります、で骨には筋肉が附著して居りまして其筋肉が收縮しますとさうすると其骨が動きます、詰り人間の體を動すことが出來るのであります、故に身體の運動に於きまして其骨は最も大切なものであるのであります。次に此骨の役目は却々多くありまして運動を司る許りでなく人間の大切な臟器と云ふものを保護する役目をも有つて居ります、詰り保護機關となつて居るのであります、例へば此腦髓は頭骨の中に包まれて居り、中樞神經は脊柱の中に納つて居り、肺臟や心臟は胸骨肋骨胸椎等是等に依つて胸廓が出來、其內に据ゑてあるのであります、又骨盤の中には骨盤內

のいろ〳〵な大切な臟器が納つて居るのでありま
す、斯くの如く骨が身體の大切な機關を保護して居
るのでありますし又役目を有して居るのでございま
す、之を譬へて見ますると若しも大事の家に柱がな
かつたならそれは家と云ふことは言へない又汽車の
機關車に「ピストン」がなかつたならば機關車を動す
ことは出來ない、卽ち此「ピストン」と云ふ棒がなか
つたら其機關車はそれだけの役目を致しませぬ、そ
れと同樣に人間の體も此骨を取去つたならば空中海
月のやうな物になつてどうも人間と云ふことは出來
なくなつて來るのであります、それでありますから
骨は人間の體に於きましては最も大切な機關であつ
て運動を掌る爲めにもなり防禦機關ともなつて居る
のであります、それで家でも丁度住馴らした家と又
機械などでも使馴した物は總て新しいものや舊くな
つて居りますものとは違ひまして新しいものと舊い
には兎角故障が起り易いのであります、丁度之を人
間に譬へて見ますと二十歲三十歲代になれば體の具
合は最も使ひ頃であるのであります、併しながら既
に働かれて五十六十になつて來ればそろ〳〵罅がい
つて來るのであります、私が子供の骨と又御老人の
骨に就てお話を致すことにした譯も詰り此處に在る
のであります、若い年頃の方が怪我を爲ると多くは
暴力に因つて詰り高い所から落たり或は他の物に打
衝かつたりして怪我を爲るとか其原因も明でありま
すが、お子さん方や御老人に於きましては一寸疊の
上で躓いても非常な怪我をされるし又何でもないと
思て居ても大に重い病氣に罹りつゝある事が後で
發見さるゝと云ふ事があるのです、然らば此骨の怪
我及病氣はどんなものかと云ふお話を致さうと思ひ
ますが其前に先天性の畸形—性來の不具と云ふやう
なのがあるので(寫眞を指す)三番目の窓の所に「エ
ツキス」光線で撮つた寫眞がございますが、此方は
詰り性來の畸形でございます、あとで御覽を願ひま
す。

是は詰り骨の數が足りないのでありまして生付無け

ればならない骨が足りなかつたら或は相當の骨の大さを有つて居なかつたり又それと反對に骨が非常に大きかつたりいろ〳〵な生付の不具者と云ふ者があるのであります。胎兒が母胎＝胎内に在ります内に、此母體に病氣があるか或は母親が妊娠中に轉ぶとか或は何か精神に非常な感動を受けたとか云ふやうな原因に由てさう云ふやうな畸形を生ずるのであります、又譬へて見ますると、醉漢や虚弱の人の造つた機械や家と云ふものは當てにならない又兎角損はれ易い疎漏な不具な物を造るのであります、是に於て人間に於きましても畸形を造るまいと思ふには其大工さんや職人に相當する者が弱かつたり酒精中毒に罹つて居たり或は肺病黴毒と云ふやうな惡い病氣に罹つて居ると云ふことは甚だ良くないことで、さう云ふ方に多く先天性の畸形と云ふ者が出來るのであります、で貴女方は體を充分に丈夫にしなければならない惡い病氣に罹らぬやうに注意せんければならぬのであります、併しながら今酒精中毒、或は惡い病氣と云ふことを申しましたけれども其逆に總て其爲めに畸形が生れるかと言へば必ずさうとは限らない、酒を飲んだからさう云ふお子さんが產まれるとか或は惡い病氣に罹て居るとさう云ふことがあるかと云ふと決してさう云ふものでもありませぬから其處は誤解の無いやうに兎角さう云ふ方に多く出來ると云ふ譯なのであります、でありますからお若い貴女方は充分に體を健康にしなければならないと云ふ事だけを是に申上て置くのでありますが先天性畸形に就きましての御注意は先づ是位は止めて置きまして子供と老人の骨はどうであるかと申しますと、子供の骨は詰り發育盛りで段々と大きくなつて參るのでありますが、其大きくなり方は長さ及太さが增して行かなければならない、長が增して行くには骨の兩端に發育線と云ふものがあつて其處から軟骨細胞が段々と出來夫れに石灰質が沈着して健全な發育をとげるので老年になると若い時分の軟骨層は消失して硬く脆くなつて來るのであります、さうして子

供の骨には有機質が多くして無機質が少ない言ひ換へると動物質が多くして礦物質が少ないのであります、年寄りは之に反して礦物質の方が増へて動物質が減つて來るのであります、されば子供の骨は曲り易いけれども折れ悪いのであります、如何となれば彈力性に富んで居るのであります、然るに年を寄りますと礦物質が多くなつて動物質が減つて來る結果一方には脆いと云ふことが起つて來るのであつて、詰り二十から三十四十あたりまでは恰度中等のところで一番丈夫でありますが、其前後のお子さんと御老人には骨の怪我及病氣も多く起ると申すのも亦さう云ふやうな事が非常に關係を起して居るのであります。

今申上げるやうな次第でお子さんが轉ろぶと云ふやうな場合に大概ポキンと骨が折れることは少いのであります、でどう云ふ風に折れるかと申しますと、大概骨が曲りますとか罅が來ると云ふのです、をまけに困ることはお子さんは唯痛い痛いと泣くばかりで何處が痛いのだか解らないと云ふ風で醫者が之を診ても解らないと云ふやうな場合が多いのである、之に反して今申上げた通りお年をお取りになると礦物質が多くなるから詰り硬く脆くなると云ふ結果、一寸轉びましても割合に骨がポキンと折易いのであります、さう云ふ場合には折れた場所も折れ具合も分り易いのでありますが、骨の再生機能と云ふものが鈍りますから癒り悪く長びくと云ふことが多いのでありますからして是又注意を拂つて治療致さねばなりません。

若しも御家庭にさう云ふ事があつたならば素人の方がお弄りになると云ふことは良くないことゝ吾々は常に考へて居ます、無暗に弄ると腫脹りますのみであります、骨が折れた場合には成るたけ其儘動かさないやうに保護して直ぐに醫者の所に連れて行くと云ふ御注意を願はなければならないと思ひます、骨の位置が違つて居るとか脱れて居るとか徒に御心配になる事もないのであります、それよりは骨の折れ

た端で近所のいろ〳〵大切な神經や血管や筋肉などを傷めたりして却て癒り方を惡くし腫脹を增させぬ樣にするのが必要であります、腫脹が著しいと診察がそれだけ困難になる故、素人の手當としては水でも硼酸水でも宜しいから手拭に浸して局所を冷やして心張棒なり板なりにそれを縛いて動かさないやうにして醫師のもとに運搬すると云ふ事が一番大切な事であるのであります。

それから骨の折れます外に關節が脱づれると云ふ事即ち脱臼と云ふ事があるのであります、此脱臼は老人の方に於かれましては殆んどないのでありますが、之に反してお子供には多いのであります、それは先程も述べました通り年を寄られた方に於きましては骨が硬くて脆いのでそれが爲めに側から力が加はりました時に若い者なら脱臼を起すやうな場合に骨が先きに折れて仕舞うのであります、殊に注意を要しますのは四、五歳より七、八歳までのお子供さんに脱臼が一番餘計起るので、就中肘關節の假脱臼と云ふものが誠に多いのであります。之れは大概は親御さんなり或はお附なりがお子さんの手を引張つたり又は手を引いて表を歩いて居る際にお子さんが蹟くと之を轉がすまいと思て引張るさうすると（肘を指す）橈骨と尺骨と云ふのがありますが、此橈骨の骨頭が多少脱づれ其間に近所にありますところの筋なりが挾まる、すると非常に痛いからお子さんは泣て二晩も三晩も寢ないと云ふ風で大變な大怪我でもしたやうに見ゆるのであります、が若しもそれを濕布か何かで濟ませますと段々手の甲までも腫れて參りまして癒り方が惡いと云ふやうな事になるのであります、それでありますからさう云ふやうな場合には早く醫者に連れて行かれると云ふことが必要であつて若し之に適當な處置を加へなかつたりお子さんが醫者に診せるのが嫌やだと言うので勝手にして置いたりすると澤山（形を示し）腫れて來て癒りが惡くなりますであるからお子さんの手を（態度を示し）斯う引張ると云ふやうなことは甚だ危險であり

ます、先程申上げたやうに拇指の方に付いた橈骨はお子さんのは出ります、それが爲めに（態度を示し）此手を斯う上せて引張ると直ぐ脱れるので、お子さんの中關節の踝脱臼と云ふものは今まで説かれて居るよりも其道が非常に多くなりまして適當な處置を施せば直ぐに癒ると云ふやうになつて來たのであります、けれども兎角脱れ易いものであります。

一遍脱づれたなら適當の手當を續けて行ふ必要があります、それは何故かと申しますと常習性の脱臼と云ふものがありまして一寸した機で何度でも脱づれる習慣がつき是程不愉快なものはないのでありま す、それでありますからお子さん達が手でも脱つれたと云ふやうな場合には縱令痛くなくても醫者の監督の下に充分の手當を要する譯であります。

總て今日の所謂揉療治接骨と云ふやうな＝是は大切でありますけれど〻又甚だ危險である、如何となれば醫學の素養なく經驗だけで行つて居ると云ふやうな事は危險千萬むしろ無法な取扱方と信じて差支へないことである、併しながら今日の社會では隨分役を爲ることも多く唯醫者の監督の下に或は醫者と相談の上で揉療治なり接骨の所なりへ行かるゝのが順序でいきなり接骨に懸けると云ふ事は甚だ危險でありまして最も注意を要すると思ひます、其理由は單に危ないとかうまく接いて呉れるかどうかと云ふやうな簡單な理由ではないのでありまして、此骨には病氣と云ふものが勿論多く來るのであります、此病氣がどんな風に骨に起つて來るかと申しますと、かかる場合には非醫者にかゝるとさんだ間違が生し易いのであります、親が結核又は黴毒性に罹つて居たりすると兎角其の兒の骨にも之等の病氣が起り其他年をとると種々な慢性關節炎と云ふものが起るし又總ての年齡を通じて種々の腫瘍が原發或は續發するものであります、よく僂麻質斯と云ひますが此病氣は眞に廣い意味の病であつてなんにも譯分らず痛みますのを昔は皆僂麻質斯に入れて居つた樣であります、御年寄に來ます普通僂麻質斯と申して居る肩の

痛みとか或は腕の痛みお腰などの痛むやうなのは是は多く慢性の關節炎であるのであります。
子供の骨の病氣或は關節の病氣と云ふものは誠に不愉快な病氣でありましてどうかして早く癒してやらなければ手後れになり容易に癒らぬもので終に一命をも奪はれるやうなことが起るのであります、此場合に御注意をなさらなければならぬのは、是等の病氣に因て骨が弱くなり或は老人に於きまして骨に癌腫が出來たり又は飛火をして居る場合には、ひよつと轉んだりしても意想外に容易く骨の折れるもので之が卽ち病的骨折と申すのであります、其時に無暗に骨を壓したり揉んだり引張つたり黄い粉を塗て置いたりしたのでは何にもならない、動かせば動かす程非常に害を與へるのでありまして益々腫れて參ります、故に吾々は素人の方に向つて我田引水のやうに聞えるか知りませぬが、骨の怪我に就ては先づ醫者に見せ其診斷に由て確に是は骨の怪我だと云ふことを言はれたら接骨でも揉療治に行つても差支ない事で、是は又便宜上差支ないことゝ思ひます。
老人の慢性の關節炎殊に畸形性關節炎は俗に申します四十腕とか五十腕とか云ふものでありますので、多く肩が痛み、之を動かせば痛みがますそれが爲めに段々と動かさないやうにしてぢつと脊中を圓くして火鉢の前に座はつてばかり居られる、さうすると段々脊骨に曲りが來まして、終には(姿勢を示し)斯う云ふ格好になつて腰も曲つて仕舞うのであります、醫術の進歩しない今より十年二十年三十年前の私共が子供の時分などに外を歩くと脊中の圓くなつた阿爺さんや阿婆さんが澤山ありましたけれども今では老年の體は皆眞直になつて來たのであります、是はどう云ふ譯かと申しますと矢張り世の中が開けて來たのに連れて、年を取つた人でも四十や五十で隱居する譯に行かないで大に社會に活動せなければならぬと云ふやうな結果、詰り社會がさう云ふやうな病氣を許さなくなつて來たのであらうと思ふのであります、年を寄りましても運動と云ふものが

必要なのでありまして全身の血液の循環を良くすれば從て骨の榮養も出來て來るから關節なぞの病氣も起らない、脊中の圓い方も減つて來るのであります、年を取れば必ず脊中が曲ると昔は考へられて居つたやうですが決してそんなものではなく銘々の不注意からして起つたものであります、然らば脊中が曲つたりするのは御老人ばかりに來るかと申しますと決してさうではなく子供に於ても貴女方御自身が御注意なさらなければならず、又お子さんや何かに對しても御注意なさらなければならぬ事が一つあるのです、今迄日本に於きましてはあまり注意されませんでしたが此頃大分學校生徒に八ケましく言はれるところの姿勢殊に脊柱の側彎症であります、貴女方の年頃の方の骨と云ふものは先程も申上げた通り動物質が多いのでそれが爲めに骨が軟かいのであります、其柔かい骨を有つて居られる方々が若し學校で授業をお受けになる際に姿勢が正しくなく（圖を示し）若し斯う云ふ風な姿勢でありましたならばどうでございませう是はＡＢＣに分けてありますが此三つは正しくない所の姿勢を描いたのであります、此姿勢になると骨が段々格好を變へまして遂には脊筋が曲つて來るのであります、從來日本に於ては之に未だ多大の注意を拂いませんでしたがこれは和服を著用して居ますから脊柱の曲つたのがかくせたからですが洋服を著るとさうは行かず脊骨の曲たのがあり〳〵と眼に著き醜いものであります、加之脊柱が彎曲すると內臟にも影響を與へかゝる人は病氣にかゝり易い故歐羅巴では非常に八ケましく申しま日本でも大分近頃八ケましくなつて來たやうです、尙充分御注意を要することゝ思ひます。（圖を指す）向に描いてありますのは既に此病氣に罹つた人の姿を示したのであります、それで此病氣の進んだ方に於ては左右に曲ると同時にねじれまして肩も右左の高さが違つて來ます、斯うなると一個の不具者になつて、骨があゝ云ふ風に變れば勿論其中に包まれて居るところの心臟や肺臟も矢張り形や位置を更へぬ

ければならぬ、それが爲めに斯う云ふ姿勢の結果(圖を指し)あゝ云ふ風な體になられた方は矢張り肺臟も弱い心臟も弱い詰り健康上非常に面白くないところの結果を來たすのであります。

それで呉々も人間の體格＝姿勢と云ふものは充分に注意を要し從て骨は大切にせねばならぬものであります、「ピストン」に始終油を注して置かなければ機械は廻りませぬ、家を建てゝも白蟻がついては治りませぬから能く注意しなければならぬと同して身體の他の部分と同樣骨の怪我病氣にも相當の注意を爲す必要も生じ又平素から運動を盛にしなければならぬのであります。

甚だ話下手で嘸御聽苦しかつたらうと思ひますけれども一般あり觸れた殊に小兒と老人の骨の病氣及怪我のお話を致しましたつもりですが骨が人間の體に於て何れだけ大切であるか、從て骨の病氣怪我と云ふものは又何れだけ大事に扱はぬければならぬと云ふ事が御解りになりましたなら私も滿足に存じますのであります、終りに臨みまして貴女方の御清聽を煩はしたことに就きまして深く感謝致す次第であります。

叢談

養生談

莊司秋次郎

養生法、卽ち個人の衞生と云ふ問題になりますと、通常先づ飮食物の講義が第一で、それから運動法であるとか、又は精神の養生法などと云ふ講釋が附錄になるやうであります。併しこれは、お花とかお茶とか乃至劍術又は柔術などで申せば表と云ふ方で、別に裏とか逆とかいふ流義の見方もあらうかと思はれます。それで私は試みに、その裏の方から少しく

養生談を致して見度いと思ふのですが、決して何れの場合、何れの人にも適當と云ふわけには行かぬかも知れません。その代りに、普通お聞きになる表流の養生法を活用し、或はその弊を矯正し、又は補なふ所があらうかとも思はれます。但し柔術で申す逆手の方は危險が多いのですから、そのお積りで御判讀を願ひます。

(一)二十年も三十年も生きて來たものが、自分の身體を養ふに何を食すれば宜しいかなどと聞くのは、馬鹿者であると云ふた人がありますが、これは至言であると思ひます。

御飯を何杯食べれば宜しいか、御汁を幾杯、御菜を幾何食べたならば適當か、卽ち日に三度の食事の加減がとれぬやうな者は勿論白癡でありませう。

要するに、常識のあるものは、何を食べても、幾ら食べても宜しいと云ふことになる。惡い物は食べよと命せられても食べはしない、食べて死ぬる程の分量は食べられるものではないのであります。

消化、不消化などと云ふことも、病人は別として、健康人にありては敢て問ふ所ではない、重湯や肉汁などばかり食べて居れば必ず病人になる。若し食べ得るものならば藁でも、紡綿の頭でも、貝殼でも食べて差支はない。普通不消物と稱せられる果物や野菜は必要品であります。特に消化し易い物ばかり食べなければならぬのは重病人の事で、病人の眞似をすれば自然病體になります。

湯茶を飲むと消化液を薄めるから消化を害すると云ふ人もあるが、一方では湯茶を飲めば消化液の分泌を促がし、且つ唾液も適度に薄められた方が消化力を増すと云ふこともあるから、全體の消化の上から云へば何方が利益か一寸判斷が出來ない。茶は多少消化を妨げるやうであるが、併し欲しいと思ふ時に飲むならば食慾を亢進させるから差引利益は同じやうな事になるであらうと思はれる、只程度の問題で、度を過せば何事でも宜しくないは申迄もない。酒や煙草とても同理である。道德や經濟上から論ずれば

又別問題になるが、單に養生と云ふ點から申せば、酒や烟草を好きなものが、適當に用ゐたからと云ふて、その爲に健康を害すとも思はれない、度を過せば米の飯でも毒になる、脚氣は米の中毒だと云ふ學者さへあるのであります。

小兒の飲食物は健康な大人と同樣には出來ない。少なくとも十歳位迄は多少消化し易い、成るべく榮養分に富んだ物を與へるように氣をつけて欲しいものである。特に哺乳兒は母親の乳だけで養ふべきもので、決して四足獸の乳などを用ゐてはならぬのであります。若し母親の乳を與へられぬと云ふやうな事であれば、それは何よりも不幸な兒である。乞食の兒よりも不遇の兒と謂はなければなりません。斯樣な不幸に遭遇した時は、其親は十分自分の責任を感じて、老練有識の小兒科醫と相談をして出來得るだけ完全に近い養育法に努めなければならぬ、それでも母乳を與へぬ以上は決して完全と云ふわけには行かぬのであります。それを牛乳など與へて、全く自分の責任を免れたやうな考へで居るのは、橫著極まつた人間と云ふべきものであります。

これと反對に、滿一箇年以上も過ぎて、過當の食物を與へなければならぬ頃になつても、惰性に任せて何時迄も乳房をしやぶらせて居る母親は、これ亦無智の人或は橫著者と云ふ非難を免れません。

老人の飲食物も、小兒と同じく特別の注意を以て選擇調理しなければなりません。七十以上の老人に、全く壯年者と同じ獻立をするのは不孝者の仕業であります。但し老人には飲食物に就て、それ〴〵嗜好、習慣と云ふやうなものが固定して居りますから、單に軟かい物とか、滋養に富んで居る物とか、溫かい物とか云ふだけでは足らない、この嗜好及び習慣と云ふ事を充分顧慮して鹽梅することが大切であります。

(二)身體の爲には凡て身體を尺度にすべきものである。食物は胃に滿つるだけで丁度宜しい。靴も丁度自分の足の大さだけあれば宜しい、九文の足に十一

文の靴は不必要なるのみならず、不都合である。同理に由て衣服は寒さを防ぐに足らば澤山である。暖國では裸體が宜しい、元來人は裸體で居るのが當然である。只寒さが烈しければ、肌を被ふた方が利益で、傍ら皮膚の怪我を防ぐ便宜もある、更に軍人などは階級や兵種の見別をつけるにも衣服が便利である。又今日の世の中になつては禮儀と稱して、其身分や其場合に應じて、相當の形や色の衣服を纏ふ習慣になつて居つて、これも結構な事である。

衣服の必要は右の數個條位に止まつたもので、これ以上の要求は贅澤と云ふべきものであらうと思はれます。贅澤と云ふのは惡德で、これから種々の罪惡が涌いて參ります。殊に婦人の衣服の贅澤にはなかなか罪惡が付き纏ふらしい。女學校などに通ふ子供等でさへ、衣服の爲に親に難義をかけると云ふ事である。これは親達の愚であるが、又學校の敎育が惡い。或は無能の敎育で、眞に人間を敎育する力のない敎育であると云ふ事の證明である。敎育者ば樣々の遁口上を作るが、事實上、その無能無效を證明して居るから致方が無い。

近頃の若奥樣達から女中等に至るまで甚しく著物贅澤になつて來たことは、萬人の認むる所で、これは日本の財政が豐かになり、文明の度が進んだ目出度い現象であると觀て、萬歲を唱へてゐる人もあるか知れませんが、私は不吉の現象であると憂ひざるを得ないのであります。その不吉たる理由を論ずることは、餘り大袈裟になりますから差控へますが、兎に角我邦の經濟狀態は、まだ〳〵數年前の歐羅巴諸國と肩を竝べる事は出來ません。勿論亞米利加あたりと同日の談ではありません。率直に申せばびいびいの貧乏所帶であります。實力も無いのに、變な僥倖で少しばかり金廻りが善くなつたからと云ふて、巴里や倫敦あたりの腐つた女共の眞似をして見ようなどと云ふは、實に歎かはしい風潮と申さなければなりません。然ればこそ萬引が始まる。病衰の夫を顧みずして芝居見物をする者が出來る。米屋の拂を

せずして美しい著物を曳ずつて歩く者がある。斯様な衣服狂とも云ふべきものが非常の勢で發生する。今にして此の惡性の精神病を豫防撲滅しなければ、國家の一大事になるまいものでもない。實際近頃の中流の人々は、娘二人を嫁入らすならば大抵の身代は傾かざるを得ないと申します。これが何かと云へば、只法外に贅澤な不要衣類を多數に作らねばならぬからであると云ふに至ては、實に惡風潮で、婦人の衣服といふものゝ禍をなす事是に至るのである。是れは心ある人々は、男女に拘らず大聲疾呼して咀はなければなるまいと思ひます

これにつけても、人間は裸體が眞の姿であつて、衣服は、帽子や靴と同じ意味のものである。決して生れながら衣服が固著して居るのでは無いと云ふことを敎へる必要があります。而して何物が必要で、何事が贅澤であるか、贅澤の惡德たる所以は何處にあるかと云ふ事を會得せしむるには、何うしても衛生の眞義を明かにして、矯正するより外に致方があるまいと思ひます。

（以下次號）

結核菌の話
（生命、抵抗力及び其傳染）

醫學士　篠原昌治

結核菌は動物體外に於て發育することを得るものであるか否か、又適當なる發育條件を有せざる場所に於ては幾許の日數を生存し得るものであるかと云ふことは、實に興味ある問題であり、同時に實地上極めて大切なることであります。

第一の問題としては、結核菌が動物體外で發育することが出來るか否かと云ふことでありますが、其に就ては種々なる障碍に遭遇するものであります。結核菌は酸素を要する黴菌でありますから、常に充分なる酸素の供給を得る事が必要であります。又結核菌は常に攝氏三十七度乃至三十八度の溫度に於てよ

く發育するものでありますけれど、動物體以外に於て常に斯る適當なる溫度を得ることは多くは不可能であります。

結核菌も生活して居る以上は、其發育に對しては一定の滋養品を要するものでありますけれど、結核菌は自ら運動することの出來ないものでありますから、動物體以外の場所に於きまして常に適當なる食料品を得ることは困難であります。其上結核菌は他の黴菌の樣に極めて迅速に發育をするものでなく、適當なる溫度や食料を與へましても尙數週間を要するものでありまして、其發育は極めて徐々たるものでありますから、其間には種々の有害作用に遭遇することもありますし殊に他の黴菌によつて容易に侵害せられて其發育を妨げらるゝものであります。夫故結核菌は動物體以外に於きまして、人が之を培養するものでなく、自然に任せて置きますれば、著しく發育することの出來ないと云ふことは明なる事實であります。

第二の大切なる問題は、結核菌が動物體外に於て如何に長く生存することが出來るかと云ふことでありまして、殊に喀出せられたる喀痰中の結核菌が幾日間其生命を持續することを得るかと云ふことを知るは、結核豫防上極めて必要なことであります。此黴菌の生存期間は素より種々なる外界の事情により甚しく相違するものでありますけれど、普通乾燥せる喀痰中に於きましても尙數ヶ月間生存することが證明せられて居ります。一般に結核菌の生命の長短は光線熱等によつて大なる影響を受けるのみでなく、痰塊の大小にも大なる關係を有するものでありまして、その小なるものに於きましては從つて其生命も短きものであります、即ち喀痰が塵埃となつて空中に飛揚するもの、衣類の縫筋と共に飛揚するもの、又は街路の塵埃と共に飛揚するものゝ中にある結核菌は、大抵三日乃至八日間にして死滅するものであります。腐敗せる喀痰中にある結核菌は八日乃至十一日間には死滅するものでありますけれど、腐

敗水の澱溜せる溝渠、又は園土等に交つて居るものは四ヶ月乃至七ヶ月、又は夫れ以上も生存することがあります。喀痰を水中に投じますれば、其中にある結核菌は數ヶ月生存して居ります。天然の泉水に於きましては約百日位で結核菌は漸次衰弱しはじめ、二百日位で死亡するものと云はれて居ります。

結核菌の熱に對する抵抗力は種々研究せられて居りまして、攝氏五十五度の溫度に於きましては六時間も生存しますけれど、六十度となりますれば既に一時間にて、更に九十度となれば二分間の後には結核菌は悉く死滅するものであります。高き熱度を短時間作用せしむる際、例へば牛乳を消毒する場合などに於きましては、その物質の溫度が沸騰點に達すれば充分に黴菌を殺すことが出來るものでありまして、牛乳は一旦煮沸して使用すれば安全であると云ふ事になります。

光線に對しては、結核菌は其抵抗力最も弱きものでありまして、直射光線に當てますれば結核菌は數秒乃至數分時にしく悉く死滅するものであります。夫故結核に汚染したものゝ消毒としては日光に曝らすことは最も便利であります。

結核菌の寒氣に對する抵抗力は極めて廣大なるものでありまして、コルチット氏の試驗によりますれば、結核の喀痰を冬季庭園に於ける「アスファルト」板上に喀出して之を乾燥せしめたるものが、其處の溫度は攝氏冰點以下十度でありまして三週間も雪中に埋れて居たにも係らず、其れを取出しました際に結核菌は尙六週間も生存して居つたと云ふことであります。

地中に於きましても、結核菌は長く生存するものでありまして、埋沒せられたる結核死體に於ける黴菌も尙數週間其生命を保つことが知られて居ります。

化學的物質、即ち消毒藥品によつては他の黴菌と同じく結核菌を殺すことが出來るものであります。然し消毒藥に對しては兎角其效力を信じ過ぐる傾向がありますから、大に注意せねばならぬことゝ存じま

す。五百倍の昇汞水は二十四時間に於て喀痰中の結核菌を全く死滅せしむることが出來ぬことがあります。二十倍の石炭酸水を二十四時間作用せしめ、其間一度之を攪拌しますれば、多くはその效果を擧げることが出來ます。無水「アルコール」を喀痰の十倍量加へますれば、二十四時間内に結核菌を殺すものであります。其他「チアン」金化合物は結核菌に對して大なる殺菌力を有すると云ふことであります。然しこれは結核の化學的療法に向つては種々試みられてをりますけれど、消毒としては多く使用せられて居りません。

結核菌の人體内に侵入することゝ、即ち結核の傳染は種々なる方法によつて行はるゝものでありますが、今爰に人より人に傳染することに就て申上げようと思ひます。

結核患者が喀出する喀痰中には、無數の結核菌を含むものでありまして、結核の傳染は主として此喀痰によつて發生し、極めて危險なものであると云ふことは、よく知られて居る事實であります。然しそれは喀痰として吐出さるゝもののみではなく、強き息使ひをしたり、又は咳嗽する際に口腔より飛散する痰片の中にも多數の結核菌を有するものであると云ふことを忘れてはなりません。結核患者の尿、糞便、膿汁等の中には結核菌を有する危險は殆んどなきものであります。

結核患者の喀出した喀痰の直接危險としては、其中にある結核菌が他の人の手指に附著し、又は器具等の媒介によつて傳染することでありますけれど、それは後に申上げる處の喀痰が乾燥し、塵埃となつて吸入せらるゝものに比較すれば極めて少數であります。

患者の呼氣の中には、普通の場合に於きましては結核菌を有するものではありません。何となれば、結核菌が肺より出でゝ口腔に達する迄には呼吸氣道に於ける粘膜の爲に包圍せられ容易に飛散せぬ樣になる爲であります。併し咳嗽をしますれば、其際口腔、

咽頭喉頭等に附著して居りました、黴菌が飛散するものでありまして、これは極めて危險なものであります。口腔より約三尺以上も離れた處に硝子板を置き、それに向つて咳嗽せしめた後、その硝子板に就て結核菌の檢査を致しますれば、確に其存在を認むることが出來ると云ふことであります。

此等の方法により喀出さるゝ黴菌は、病牀の下方には多く存在して居りますけれど、その上方に於ては殆んど發見することは出來ません。

その空中に浮游して居る時間は、時として六七時間に及ぶことがありますけれど、普通半時間の後には其大部分は沈降するものでありまして、一時間の後には極めて少數に發見せらるゝのみであります。斯る方法によつて來る傳染は多く家族、又は看護人等の間に起るものでありまして、其數は決して多きものではありません。

結核患者より喀出せられたる喀痰中の結核菌によつて生ずる傳染に就ては、危險なるは其喀痰が乾燥し、塵埃と共に空氣中に飛揚して、それが呼吸の際に吸入せらるゝことであります。斯くして吸入せられたる結核菌は、如何にして結核性疾患を發するかと申しますに、先づその結核菌は咽頭粘膜、扁桃腺等に附著するものであります。然し其處に於ては何等の疾患を發することなく、其處より頸部の淋巴腺に入りて腺結核を發することがあります。それが即ち多く見らるゝ結核性淋巴腺炎であります。

又其他の黴菌は、其處より尙進んで喉頭に行き、喉頭結核を發することがあります。喉頭の原發性結核は無きものでないと云ふ事は一般に承認せられて居りますけれど、それは極めて稀有のものであります。其次は氣管及び大氣管枝でありますけれど、斯る場所に結核菌が附著して、其處に原發性の結核を生ずることは殆んどないと云ふて差支ない程であります。此等吸入せられたる結核菌の大部分は、分泌せられたる粘液と共に喀出せらるゝか、又は氣道に於ける鞭毛細胞の作用によりまして再び體外に排

出せられますけれど、其一部分は遂に肺胞まで到著するに至るものであります。此等の結核菌は一部分は淋巴管を通じて氣管枝腺に行きて、其處に潜在し、後年に至りて再び肺の方に出で來て肺結核を發することもあります。又其一部分は肺胞に止まり、其處に直ちに肺結核を發病することもあります。殊に遺傳を有し、身體虚弱のもの、又は他の疾病の爲に衰弱せるもの等でありますれば、容易に發病するものであります。

夫故結核の傳染は工場、寄宿舎等の多人數集合する場所に於ては、其中に結核患者が交つて結核菌を有する喀痰を吐出しますから、傳染の危險は最も多きものであります。殊に小兒は地上に於て遊戯する場合が多くありますから、自然結核菌を有するものに手を觸れ又は夫れを嚥下する等のことがありますから、傳染の危險は大なるものであります、小兒の結核は其傳染の際に直ちに發病することなく、十歳乃至十五歳等の一定の年齡に逹する迄は潜伏して居て其期に至り發病するものであると云ふ說もあります。

一家の内に肺病患者がありますれば、其の患者が喀出した痰に直接間接に手を觸れて傳染することもありますし、又咳嗽の際に結核菌を空氣中に飛散せしめ、其他喀痰が乾燥して空氣中に飛揚する場合も多くありますから、自然その傳染の危險の大なることは止むを得ないことであります。

街路に於ける塵埃の中には多く結核菌を發見することは出來ぬものであります。それは結核菌は度々乾かしたり、又濕らしたりすれば死滅するものでありますから、街路に吐出されたる結核菌は、他のものよりも比較的速に死滅することもあり、又街路には非常に多量の塵埃がありますから、其中に交つて少數の結核菌は其行先不明となることもあるかと思はれます。夫故馭者などは比較的結核にかゝるものが少數と云はれて居ります。

通俗「トラホーム」豫防心得

これは日本「トラホーム」豫防協會が、弘く全國に配布して豫防の一助とせんが爲に編纂したものであります。

「トラホーム」の由來

「トラホーム」とは、元、西洋の粗糙といふ意味の語で、此病にかゝると、目蓋の裏が、ザラザラになる所から、此名が起つたのです。

「トラホーム」は、日本にも矢張り昔からあつたもので、種々の名稱がついて居りました。

然し其の當時は、まだ人々が「トラホーム」の傳染ると云ふことも知らず、又、療治の方法なども、よくは分らなかつたのです。然るにだん〳〵世が開け、人々の知識が進み、醫學が進歩して來た爲に、今では此病の恐しい傳染病であることや、療治をすれば治癒ると云ふ様なことも、明かになつて來ました。

「トラホーム」の原因

「トラホーム」の病原に就ては、是迄世界の學者が種々研究べましたが、まだ確かなことはわかりません。然し「トラホーム」は一種の傳染病で、其の病毒が「トラホーム」患者の眼脂の中に、含まれて居ることだけは確です。即ち「トラホーム」は患者の眼脂が手指、手拭、其の他種々の物に附いて、他の人の目に這入り、夫れから傳染るのですから、それを防ぐには平素、氣をつけて、身のまはりを、清潔にすると云ふ事が最も必要です。若し不養生をしたり、目を不潔にして居たり、流行眼病又は上衝眼などに罹つても、其の儘にして居れば、とかく「トラホーム」に罹り易いのです。

「トラホーム」の症狀

「トラホーム」とは、目蓋の裏(結膜)に顆粒の出來る病氣で、最初は極めて輕く、何時の間に「トラホーム」に罹つたか分らないのが常です。其の爲に、偶々學校の體格檢査や、徵兵檢査等で見出されなければ、知らない内に病勢がだん〳〵進んで、目蓋の裏は一面に赤く粗糙になつて、恰度苺の實の様に脹れ、

物を見る時、目が直ぐ疲れたり、霞んだり、或は眼脂が出たり、又、絶えず目の中がゴロ〳〵する樣になります。そして後には、黒目の上の方から雲翳がして一層霞が甚くなり、又、時々目星が出來て痛んだり、羞明しかつたりして、目が開かない樣になるのです。

又こんな狀態に病氣が長引と、自然に目蓋が内側に曲り込んだり、倒睫毛が生えたりして、それが爲め、黒目の雲が、だん〳〵擴がり、遂には盲目同樣な氣の毒な有樣になるのです。

以上は慢性「トラホーム」といふので、普通の「トラホーム」ですが、稀には、急に『はやり目』の樣になつて起る、急性「トラホーム」もあるのです。

「トラホーム」に罹らぬ心得

「トラホーム」は、眼脂から傳染ると云ふことが確ですから、病毒は其の眼脂の中にあるものと思うて氣をつければ、各自の豫防は決して困難なものではありません。

今注意のために、「トラホーム」の豫防心得を單簡に述べておきます。

(一)目性の惡い人は「トラホーム」に罹り易いのですから、目の病氣に罹つたら、たとへ輕くとも、早く療治をしなければなりません。又、平素も目を惡くしない樣に次の事柄に注意しなければなりませぬ。

(イ)身體の不潔、睡眠不足、目の過勞等を避けること。

(ロ)平素不潔の手指で目を擦らぬ樣にすること。

(ハ)塵埃の多い場所や、煙る部屋を避け、居室は明るくして、空氣の流通を良くすること。

(ニ)なるたけ酒、煙草を用ひぬやうにすること。

(二)「トラホーム」患者の眼脂を自分の目に附けない樣にするには、主に次の事柄を注意しなければなりませぬ。

(イ)平素手指を清潔にして置くこと

(ロ)手拭、手布等の貸借をせぬこと。

(八)「トラホーム」患者の使ふ洗面器、其の他日用器具は嚴重に區別すること

(二)夜著の襟、枕掛等は、度々新しい物と取換へ、又は洗濯すること。

(三)神社、佛閣の奉納手拭や、人の群集る場所の手水鉢、柄杓、便所の手拭等は最も不潔ですから、成るべく觸らぬが安全です。

(四)乳母、子守、其の他の傭人等を傭ひ入れる時は「トラホーム」の有無を檢べることが必要です。

(五)「トラホーム」に罹つて、たゞ神佛の力のみを頼んだり、又はお賓頭盧を撫でたりするのは、迷信と申すもので、反對に自分の目の病氣を日一日と惡くする基となり、又、人にも恐しい眼病を傳染することになるのです。

「トラホーム」に罹つた時の心得

一家の中に誰か、一人でも「トラホーム」に罹つた者があつたら、念の爲に家族全體の目を醫師に診て貰つて「トラホーム」の有無を知るのが肝要です。それから、患者は直ぐに醫師の療治を受けなければなりませぬ。「トラホーム」は普通の流行眼病などと違つて、僅かの日數では全治り難いものですから充分耐忍して、熱心に療治をしなければなりませぬ。

つまらぬ話などに迷つて、妄りに賣藥を用ひたり、又は種々の素人療治などをしては、きつと後悔の種となります

尚ほ「トラホーム」に罹つたのは自分の不面目と心得て、一日も早く治癒す樣にするのは云ふまでもなく他人に傳染せないやうに氣をつけなければなりませぬ。

「トラホーム」の害

「トラホーム」は、野蠻の國に多い病氣であり、又不潔の人に多い病氣です。だから「トラホーム」の多いのは、其の國の恥辱ですし「トラホーム」に罹るのは、其の人の不面目です。ところが我が日本では、徴兵檢査を受ける者五人の中には、一人の「トラホーム」患者がある割合になつて居ります。又學校生徒や、

職工などにも、之に劣らぬ位の「トラホーム」患者がありますのは、外國に對しても恥かしい譯で、又日本の兵力、教育、工業等の將來に取つて實に心配なことです。斯樣に日本には非常に「トラホーム」が蔓延つて居りますから之を經濟の上から見ても「トラホーム」に罹つて居る者の職業を休む損失や、療治に掛ける費用の如き、個人及び國家の蒙る損失は莫大なものです。我々日本國民は共々に力を協せて、是非この恐るべき「トラホーム」を撲滅しなければなりませぬ。

二三の妙藥

今野信能

今日の藥品は、大部分化學的に集成し、或は草根木皮より醫藥となるべき主成分を抽出したものでありますから、その效力は到底昔の生藥の及ぶ所でないは勿論、その醫治效用並びに用量等も明かになつて居りますから、醫師が眞面目に學理に基づいて治療を施す際には、是非此の如き性質、用量等の明かで確實な藥を用ゐなければならぬのであります、併し理想的の藥品を化學的に造ることは、なか／＼六ケしい、又昔の生藥から其の主要の成分を採分けて見ますと、なるほど其の主成分は能く作用し、理想的の藥品に近くはなりますが、治療の實際上に於ては、往々生藥を用ゐる時のやうな效果が現はれない、反つて生藥の中に含まれて居る他の成分が共に何等かの作用をして初めて完全の效力を現はすと思はれるやうなものもあり、尙ほ昔の漢方で使つた藥物の中には、確かに效能はあるが、その效能は化學上如何なるものか、如何に作用して效を呈するのか全く不明のものも澤山あります。特に昨今は戰爭の爲に、歐洲殊に獨逸から輸入されて居つた藥品が杜絕しました爲に、その代用として種々昔の漢方藥物などを試みらるる醫師もありまして、昔の漢方醫が薬て

て僅かに民間に傳はつて居た藥物が、再び今日の醫師に應用されるのもあるやうであります。近頃の醫學雜誌に現はれた、此の種の藥物を二ッ三ッ御紹介して見るのも一興であらうと思ふ。

黃疸の藥

黃疸には蜆汁を食ひ、又蜆を煎じた浴を使つても效があると云はれて居る、これは昔から日本中何處でも唱へて居る事のやうであります。その理由は分かりません。併し昨年私が黃疸を起した時に、盛に蜆汁を食べて見ましたが、少しも何等の效驗も認めませんでした。

それから漢方藥の茵陳蒿が能く利くと申します、これは確かな御醫者の實驗談でありますから、信用が出來る。機會があれば用ゐて見ようと思つて居ります。

其他にも黃疸の藥と稱する民間藥は種々ありますが、何れも怪しげなもので、試みる迄もない無效のものと信ぜられますから、玆に列べることを止めますが、近頃、ある醫學雜誌を見ますと、黃疸には西瓜がよく利くと云ふことを報告してありました。腎臟病には刺戟がなく、味も好く且つ利尿の效があるので、西瓜が宜しいと申して特別に西瓜糖などと云ふものが製造されて居る位でありますが、黃疸にも西瓜が利くと云ふは一寸耳新らしい事ですから御紹介致す譯であります。

黃疸は獨立して居る一つの疾病ではなく、所謂症候に過ぎない、即ち本の病は肝臟の癌腫であるとか、膽石であるとか凡て肝臟或は輸膽管等に故障があつて、腸の方に排泄せらるべき膽汁が逆に血液の方へ廻れば皆黃疸を發する、それで斯樣な難治の病氣が根になつて起る黃疸は別として、普通黃疸と稱せられたる所謂加答兒性黃疸と云ふものは、蜆汁を食ふても、食はぬでも大抵自然に治癒るものであります。それが西瓜を食べるとよく治癒ると云ふのであります。それも畢竟利尿の效があるので早く體内の膽汁成分を排除するのであらうと思ひますが、勿論

赤い所だけを生で食べる。西瓜糖といふのでは其の效が無いと云ふことです。

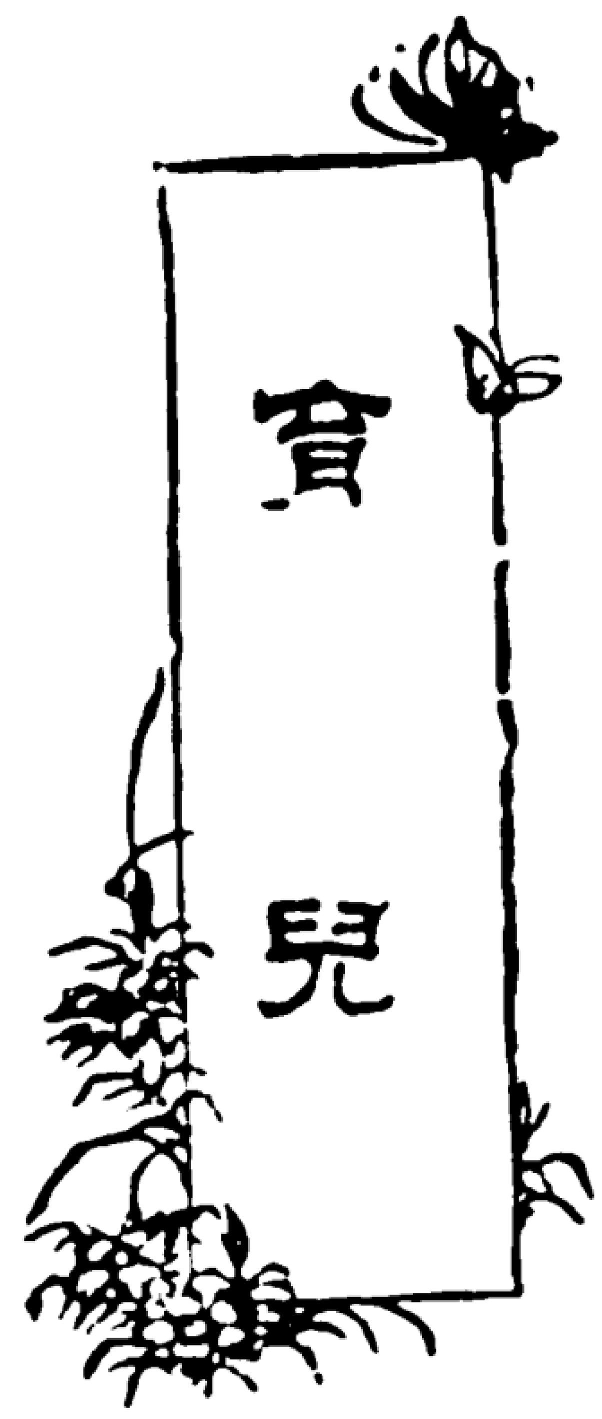
疣取りの藥

薏苡仁、即ちハトムギが疣取りの妙藥であると云ふことは昔から聞いて居りましたが、近頃の醫師もこれを試みて實際效があると申します。それは薏苡仁を炒りて粉にし、毎日三四回一匙づゝ白湯で服用すれば、二三週乃至二三個月で疣が除かれると云ふことであります。茶のやうに煎じて飲んでも宜しいさうであります。尚ほ薏苡仁は利尿の效があり健胃の效があり、更に肺病にも癌腫にも、脚氣にも宜しいと申します。

心臟病の藥

福壽草が心臟の藥であると云ふことは昔から知られて居つて、現に福壽草根は醫師も使用したものでありますが、近頃陸軍衛生材料廠の藥學士田口文太氏は日本固有の福壽草から其の有效成分を抽出して「バナドニン」と云ふ藥を製しましたが、心臟藥として有名な彼の「ヂギタリス」と殆ど同じやうな效能があると云ふことであります。併し心臟病は重大な病氣ですから、自分で心臟病らしいから福壽草を煎じて治癒を圖らうなどとするのは過ちを來します。只福壽草も實際心臟病の藥らして應用されると云ふことを證明されたのが面白い事と思うて御紹介致すのであります。

此等の外にも民間に傳へられて居る妙藥は數限りも無いが、成分も作用も不明なものを妄に好奇的に應用することは考物であります。併し其等の物の中に實際有效の物のある事は事實でありますから、有りふれた病氣に、有りふれた草根木皮を試むることは、敢て咎むべき事でもなからうと思ひます。



新入學の子供に就て

高島平三郎

高島先生は雜誌「兒童研究」上に於て、本題の下に細々と有益なる注意を與へられました。目下初めて小學校に入學した子供衆のあるお家の方々に讀んで頂き度いと思ひまして、特に玆に轉載することに致しました。

(一) 人性の結節教訓の好機

小供が滿六年以上になつて新に小學校に入るといふことは子供の生涯に取つて大切な時である。すべて子供には何か言ひ聞かせるにも或る時期を選んでする時は深い印象を留める事の出來るものであるが入學といふことは子供が家庭から出でゝ社會に接觸する初めで從來の惡い癖を改めたり又新に何事かを始めさせるには最も適當の時である。一體人生は「創造」と「改造」との反復に由つて出來て居る者であるが子供の幼い時はこれが頗る頻繁に行はれてすぐ習慣が出來るが又すぐに之が破壞せられるのである。これは子供の年が少ければ少いほど盛んに行はれる。學齡時代はこれから良習慣を保存し惡習慣を打破する爲めに教育を施すのである故、先づ入學の初に親は子供を膝下に招き「お前は明日からいよ〳〵尋常小學校の一年生となるのである故今までのやうに何事も母上や姉上や又女中などにして貰ふやうではならぬ。これまであつた何々の習慣は明日からすつぱり改めねばならぬ。さうして明日からはこれこれの事を實行せねばならぬ」といふやうに力強く諭すがよい。子供心にもかういふやうに或る改まる時に言はれる事は存外強い印象を留め之を機として一轉化をなすものである。家庭に於ては先づかくして入學といふ時期を教育に利用せねばならぬ。

(二) 入學の祝賀、記念の印象

それと共に子供の初めて入學する時は彼等の將來の長き學校生活の門出であると共にその運命の振り出しであることを考へて古來行はれて居つたやうに相當の儀式を以て祝ひをしてやるがよい。學校に於ては假令形式にもせよ入學式といふ事が行はれるが家庭に於ても子供の新入學を祝する爲めに或は子供が平生可愛がつて貰つて居る親戚の叔父叔母その他の人を招くとか或は隣近所の朋友を集めるとか、假令然らざる迄も一家團欒してその子供の爲めに祝宴を開いてやるといふことは彼に必ず深い印象を與へるであらう。その時はよく分らぬにしても父母が自分の爲めにこれ程にして呉れるといふ事を後に感ずる樣になれば彼の精神にはよき刺戟となるであらう。

(三) 初めて覺える心配、身心の影響

子供の側からいへば今までは家庭にのみ居つて交はる範圍も狹く爲すことも甚だ簡單で毎日唯遊んでのみ居つたのである。それが急に學校に往くやうになればいろ〳〵見知らぬ人に接觸して一定の時間多くの人々と共に教場に入り一定の教を受けることゝなるのである故その身心に及ぼす影響は非常である。何處の國でも子供が學校に入つてから二、三年の間は身長體重共にその増加率が減ずるといふことである。これは全く生活が變化する爲めであらう。併し學校生活が必ずしも子供の爲めにいつも惡いといふのでは無く二、三年立つ中には子供の生育は却つて良好になるのがあたり前である。何にしても學校に入れるやうになれば所謂學校病といはれて居る(一)榮養不良(二)近視眼(三)脊柱彎曲(四)頭痛(五)神經的疾患等が起り得る機會が多い事を考へ一般に子供の身體の狀態にはよく注意してやらねばならぬが就中新入學の當時は一層精細に心を用ゐねばならぬ。榮養不良はいろ〳〵の原因から來るであうがこの年頃の子供は遊びに夢中になつて食事の時も碌々嚙みもせずに呑み込みまだ口の中に食物の

ある間にもう飛び出してゆくといふやうな事がよくある者であるがかういふ事も確かに胃腸障碍を來たす有力なる原因であらう。又午後までも學校に居るやうになれば晝食は辨當で濟ます故どうしても家庭に於て食する程の分量に充たぬ。そこで歸つて來るや否や非常に空腹を感じ「何か吳れ」と母親に要求する。かゝる場合に菓子をやるのが一般の習慣になつて居るやうであるがこれは甚だよくない。一體間食は絕對に禁ずるが理想であるけれどもさうはゆかぬ場合が多い。殊に學校から空腹を忍んで歸るやうな時には當然之を許さねばならぬ。かゝる際には干菓子や餅菓子でなく握飯をやるとかパンをやるとか又薩摩芋をやるとかすべて饑を凌ぐに足るものを與へるがよい。

(四)　學校病のいろ〳〵

近視眼になるのはいろ〳〵の原因もあらうがつまり學校に往くやうになつて餘り細かい文字を光線の不充分の處などで讀むことがその基をなすことは間違ない。所謂豆本などを幼い子供が電車の中などで見て居るがこれは家庭でも學校でも嚴禁せねばならぬ。すべて細かい物を見た後では遠い所を見るやうな習慣を付けるがよい。脊柱の彎曲は机腰掛の不適當から來るのであるゆゑ主として學校の責任であるが家庭に於てもよく氣を付けて子供の姿勢を見てやらねばならぬ。近來大野木式机腰掛といふ特許品があつて子供の成長と共に机も腰掛も高くしてゆく事の出來るやうになつて居るのであるかういふ物に據つていつも子供の身長に適する物を用ゐれば脊柱彎曲を免れる事が出來る。子供が頭痛がするなどいふのは學校の課業がその子に不適當であるか又學校の敎室の空氣が汚れて居て弱き子供の頭に障るのであるゆゑ子供が學校より歸つて來て頭が痛いなどいふたら親は學校の狀態をもよく調べて見ねばならぬ。その他神經的疾患もまたよく堅まらぬ子供の腦を餘り強く刺戟する爲めに起る場合が多いのである。例へば學校に上らぬ間は活潑な元氣な子供であつたの

が學校にゆくやうになつてから少しの事でもすぐ氣に掛け肝癪が強く瘠せて氣むづかしくなるといふのは即ち神經質になつた一の徴候である。これが進んで神經過敏神經衰弱といふやうな子供らしからぬ狀態を呈するやうにもなる故子供を學校に上げるやうになつたらいつも氣を付けてかゝる傾向にならぬやうにせねばならぬ。

(五)傳染病

その他子供が學校にゆくやうになれば種々の傳染病に感染する機會が多くなる譯であるゆゑこれ亦氣を付けねばならぬ。我國の學校衞生に於ては傳染病が三種に分けてあつて第一類の甲には痘瘡、假痘、「チフテリア」、猩紅熱、發疹「チフス」、「ペスト」等が擧げてあり乙には百日咳、痲疹、流行性感冒、流行性耳下腺炎、水痘、肺結核等が擧げてある。又第二類には赤痢、「コレラ」、腸「チフス」第三類には傳染性皮膚病、傳染性眼炎が擧げてある。是等の病氣に關しては學校でもそれ〴〵の注意はするであらうが家庭に於て醫師の適當なる指揮を仰ぎその豫防或は療養に意を用ゐねばならぬ。就中肺結核は漸次に蔓延し十歲以上十四五歲からの妙齡の女を冒すことが殊に多い。これは世界の何れの國よりも現代の我國に於ける特殊の現象として識者の注意を惹いて居る事である故女の子供を持つ親は殊更氣を付けて幼少の頃から榮養や運動や新鮮な空氣の供給を充分にしてやらねばならぬ。

(六)一日の理想的時間割

一體入學當時の子供には男女ともに一日に十時間以上十三時間眠らしめ三時間は課業五時間は運動遊戲その他各自の隨意に用ゐしめ三時間は食事入浴その他身のまはりの事の爲めに用ゐしめるのが理想的の時間割である。睡眠の不足は男女老幼ともに身心のいづれにも惡い結果を來すが幼い子供に於て殊に甚しい。子供が學校にゆき急に生活が變るやうになれば身心ともに疲れる故殊更充分よく眠らせてやらねばならぬ。夜更かしをさせて置きながら朝早く

強ひて起すが如きは最もよく無い事である。幼時から一定の時が來れば必ず眠り又一定の時が來れば必ず目が覺めるやうに習慣を付けて置かねばならぬ。課業といふのは子供が隨意にするのでなく學校なり家庭なりに於て強迫的に行はしめる仕事である。若しも子供が自分の好みから喜んでするやうならば四時間になつても五時間になつても大した害もなからうが、チヤント定まつていやでも應でも行はせる仕事は先づ三時間位が適度である。長くても四時間を過ぎぬやうにせねばならぬ。

運動遊戲がこの頃の子供に取つては課業に劣らず大切である故この時間の利用には大に意を用ゐねばならぬ。都會の子供はこの大切なる時間に新鮮なる空氣の中で充分活潑に運動する事が出來ぬ故種々の惡戲をなしたり又身體にも惡しき影響を受けたりするのである。都會に於て兒童遊園の必要なるは各國共に之を認め文明國では皆それ〳〵の設備がしてある。我國では東京にも大阪にもその設備が完全せぬ。之を不急の事業であるなどいふやうでは我國の將來も知る可きのみである。

（七）教授上の注意　家庭の智育は如何

次に教授上の事に關して家庭の注意を述べやう。一體知識の教育に關しては學校に依賴するを原則とすべきである。家庭に於て學校教育以外に知識の教授をするのは子供を苦め過ぎる虞があると共になかなか適當に行はれず之が爲めに却つて種々の弊害を生ずる事さへある。併しされはとて親はその子がどんな事を習つて來るかどれ丈け知識が啓發せられたかも知らずに過ごしてよいといふのでは無い。時々試驗的に復習をさせて見る必要がある。それも子供が普通の進歩をして居るなら毎日時間を定めて強迫的に復習せしめる必要は無い。少くとも入學後一二年の間は親が晩餐の後一家團欒の折などそれとなしに子供の成績を檢してやり又いろ〳〵と應用の問を出して尋ねて見るといふやうにするがよい。

（八）獨創力撲滅教育、その補救

一體我國の教育は下は小學校から上は大學に至るまで悉く試驗勉學である。さうしてその試驗といふのは記憶の檢査である。ただ教へられた通りに或る事を記憶して居て答へさへすればそれで滿足が與へられ子供もそれでもうその課はすんだと思つて居る記憶は大切な精神作用ではあるが決して高等な智力ではない。智力作用ではその上に想像もあれば判斷もあり推理作用もある。それ故せめて家庭に於て子供の爲めに復習を試みるやうな場合には、記憶のみの檢査をせずに應用の問題を主とするがよい。獨創力の養成は今後の日本國民に取つて最も大切であるがそれは今日の如き教育法ではとても目的を達する事は出來ぬ。記憶の教育は獨創力撲滅の教育である。獨創力養成の爲めにはどうしても子供の心の活きを自由ならしめねばならぬ。余は近日今日の教育の缺陷を補ふ可き目的を以て學校教師や父母の參考となる可き月刊の雜誌並に單行本を發行する積りである。之に由りて子供の幼少の頃からただ人眞似のみを事とせす自己の考を働かせる習慣を付け他日我國民から各種の方面に獨創的事業の續出するに至らんことを切望する。

（九）豫習の害　子供を不注意にする

以上の如く復習は時として之を認容するにしても豫習は殆んど絕對に之を廢さねばならぬ。何故といふに若し豫習を盛んに行つて置かば子供は學校に往きても教課に對する新しき感興を失ひ教師の教ふる事項に充分注意を拂はぬ爲めには終にはそれが習慣となり自己によく分らぬ事までも不注意に經過し教授せられし事がすべて確然と心に留まらぬやうになる虞がある。假令豫習をなさすとも極めて優良なる智力を有する子供が比較的に知識の乏しき子供の集まれる學級に在る時にもかういふ惡結果を來す事が少くない。之を以ても子供はその年齡やその知識の程度の相如く者と共に教へねばならぬ事がよく分る今日の教育が假令いくらよく出來ても一定の年齡に達

せねば進級させぬといふのは甚だ愚なる形式的規則であるといはねばならぬ。かゝる規則の爲めに幾多俊秀の子供を害して居るか分らぬであらう。兎に角豫習せねば學級の進歩に付いて往かれぬといふのは即ちその子供を特別に教育せねばならぬ證據である故かゝる場合には學校は一年位休學させても特に心身の修練に努める方がよい。

（一〇）尋常一二年算術課廢止の愚論

この頃一部の教育者の間に算術は尋常一二年の子供にはむづかしい故學校の教課として教へる事はやめて三年から課する事にしたらよからうといふ説があるとの事であるが此は誠に理由の無き事である。すべて子供はその生活の必要に迫られて物事を覺えて往くのがその自然である故家庭や學校で教へるにも成る丈け彼等に之を學ぶ事の必要を感せしめるやうにするがよいのである。所が數はどうであるかといふに子供の生活には極めて必要で彼等は三つ四つの時から分與せられる菓子の多少などに就いて多大の注意を拂ひ數に就いては隨分強い興味を持つて居る。それゆゑ既に學齡にも達すれば教へ方に由りては子供は數の取り扱ひに就いては喜びこそすれ決して嫌ふものでは無い。隨つてむづかしくてならぬといふやうな事は無い筈である。若しさう云ふ事があるならそれは算術を教へるのが不適當なので無く教へ方が惡るいのである。兎に角かういう譯であるゆゑ新入學の子供に就いて家庭でも學校でも數の事を教へたとて決して不都合は無い。ただ教へ方にはよくよく注意し成る可く子供の實生活に觸れるやうにしてやらねばならぬ。

（一一）訓練上の注意、家庭は德育の基礎地

子供が學校に往くやうになつたら家庭に於ては一層訓練上のことに注意せねばならぬ。一般に知識の教育は學校に任すべき事前述の通りであるが道德の教育は家庭が主となり學校は補助の立場に立たねばな

らぬ。學齢に入りてから一二年の間は子供の心身に變化の起る時であつてその取り扱ひには特別の注意を要する子供が惡戯をしたり親のいふ事を聴かなかつたり亂暴の事をしたりするのは大抵七八歳から十歳までの間である。尋常一年はまだ從順にして居るが二年になるといろ〳〵の點に於て取り扱ひが面倒になる。親は豫じめこの事を承知して居らねばならぬ。

（一二）獨立自賴の精神

子供に獨立自賴の精神を養はしめることはいつも大切であるが小學校に通學するやうになつたら之を機會として一層之に注意するが可い。通學するにも三十分以内でゆかれる所なら車などに乘せずに必ず歩かせるがよい。それ以上の距離の所でも往きには電車なり人力車なりに乘らしめても歸りには成る可く歩かせるやうにせねばならぬ。その他靴を磨くこと衣服を著たり脫いたりする事も皆子供自身に行はしめるやうにするが可い。一體日本の中流上流の社會では乳母とか褓母とか書生とか乃至は祖父母などが付いて居て子供の自ら爲す可き事をいろ〳〵としてやる。嬰兒や幼兒の場合には止むを得ぬ事もあらうが學齢にも達する頃になつたら自分の事は成る可く獨りで處理する習慣を付けねばならぬ。あまり世話を燒き過ぎると子供はいつ迄も依賴心を持つて居て役に立たぬ者となる。華族や富豪の子弟に意志薄弱の役立たずが多いのは幼時からの敎育を誤つて居る爲めの事が多からう。

（一三）入學最初の印象

又子供が小學校に上つたその初めの日の印象はその子の將來に非常に影響する故學校でも家庭でもよく意を用ゐねばならぬ。殊に子供が初めて先生から何か言はれる時の感じは非常に強い印象を留める。或る子供は初めて小學校に往き下駄箱に下駄を入れる時先生から何か強い口調で言はれた事に就いて強く恐怖と嫌惡との感情を起しそれから後數年の間その先生に對しては絕對に物を言はざるに至つたことが

ある。多くの子供の中には學校に往くと一切口を利かぬ者があるがそれは概ね前述のやうな事が原因して居るのである。假令それほどで無くとも入學當初の第一印象がよく無いと子供は自然と學校を厭ふやうになる故大に注意を要する、兎に角子供が學校に上つた一日は生涯初めての刺戟を受けるのである故學校でも家庭でもその狀態によく心を用ゐてその心身に惡しき影響の無いやうに努めねばならぬ。學校に往き出してから夜中に飛び起きては泣き出すといふやうな事があつたら直ぐその原因を調べて根本的治療をしてやらねばならぬ。

（一四）學用品の供給

又學用品の供給なども富める家の子供なりとて贅澤の品を多く與へるやうな事をしてはならぬ。豫め學校に謀つてその學校の規定に從ひ先生の命令通りの物を與へるやうにするのがよい。濫りに學用品を供給すれば之を濫費し終には却つて人の物を盜むやうにさへなる。貧の盜みといふが貧しいからといふて必ず盜みする者ではない。假令富んで居つても平生贅澤にして居つた物がどうかいふ事かで物が足らぬやうになれば一層窮乏を感じて人の物にさへ手を出すやうになるのがある。その他衣服でも履物でもすべて質素にして堅牢なる世間普通の物を用ゐしめるがよい。富豪の子弟はせめて學校に通學する間丈けなりと綿服を纏ひ質素の風を試みるがよい。

（一五）賞罰の效果

子弟の教育に賞罰の必要なることはいふ迄も無いがその效用に就いては年齡に由つて自ら差がある學齡前にも亦學齡後にも賞罰の效果は少い。賞罰の最も有效なのは學齡時期である故家庭に於ても極めて愼重に之を用ゐねばならぬ。概していへば罰することよりも奬勵することを多くする方が可い。併しどちらも餘り濫りにすればそれ丈け效力は少くなる。されば濫罰と共に濫賞を戒めねばならぬ。

（一六）家庭と學校との連絡

要するに學校にゆくやうになれば父母よりは先生の

言はれる事によく服從するやうになるのが一般である。されば家庭に於て何か子供に諭してもきかぬやうな場合には學校に往き先生からそれとなしに全體の子供にいふて貰うと有效なる事が多い。かゝる場合に限らずすべて學校と家庭とはよく連絡を取り子供が兩方に於て同じ性格を現はすやうに努めねばならぬ。家庭に於ては非常に活潑なる子供が學校に於て沈鬱であるといやうな場合には學校に於て必ず何等かの事情があるに違ひ無い　例へば先生がその子供に對して特につらく當るとか同情が無いとか或は朋友の中に之をいぢめる者があるとかいふやうな事があるのである。かういふ事を棄て置けば將來子供の爲めに大害を來すやうになる故親は細心の注意を以てその原因を取り除かねばならぬ。

乳を出す法

醫學士　竹内薫兵

乳の分泌を增させやうとか、又は一度減つた乳を復の通り出さうと思はゞ、一番よい方法は、吸ふ力の充分にある他の子供に、毎日乳房を吸はす事であります。かうすれば丸つきり分泌なくなつた乳房でも一週間か十日で必ず分泌ることと受け合ひであります。少し減つた位なれば二三日行れば必ず以前の通りに澤山分泌て來ます。又他の子供でなくとも、自分の子供に吸はしても勿論よろしい。今吸はうと思ふ子供ならば、これまで牛乳などを與つたならば、そんなものは少しも與へず、一生懸命乳房に附ければ必ず分泌るやうになります。初めの間は思ふやうに分泌ないので、饑渴くなつて泣きませうが　そこが我慢の爲所で、子供は二日三日饑渴くしたとて、決して死ぬものではありませんから、唯一途に乳房

を吸はす事を心懸くべきであります。必ず〳〵分泌て來るものであります。唯、然しながら、子供に吸はすと共に、母親は滋養になる食物を多く食べる事は至極宜しい。成るべくは牛乳を澤山飲む事としたい。若し牛乳がいやな方は、普通の湯か、薄い番茶を澤山飲むが宜しいのであります。

次に、西洋にも日本にも、乳の出る藥といふものが隨分と多く市中に賣り出されて居ります。日本では昔から鯉こくを食べると良いと申します。是は鯉こくには滋養分が多い上に、汁として飲むのでありますから、水氣もありますゆゑ、決して惡るくはありませんつまり鯉でんぶ、鰹でんぶ、鯛でんぶを汁として食べても同じ理窟になるので、殊更に鯉に限ると思はれません。唯これを飲みさへすれば乳が分泌ると思ふと、少し當てが外づれるだからうと考へます。

賣つてをる「乳の出る藥」といふものは、此外、日本にも隨分と多いものであります。西洋には「サナトーゲン」とか、「ガルレーガ」とか、「マルットロボン」とか、「ソマトーゼ」とか種々あります。又棉の種子を食べると良いといふので、これから製したものを「ラクダゴール」といふ名を命けて賣り出してをります。

今私は此處で、これ等の藥の惡る口をいふのは好みませぬ。又これ等の藥を用ゐて母親や子供の身體に害になるとも思ひません。唯世のお母樣達が、乳の出る藥をお飲みになると共に、お子樣に乳房を精出して吸はす事は決して忘れてはなりませぬ。其外に牛乳か薄い番茶をも是非飲んでいたゞきたい。若しこれをお忘れになつたならば、折角お求めになつた「乳の出る藥」は、案外利きの惡るい藥とお思ひになることでありませう。

それから又乳が足りないと思ひますと、我邦の習慣では、先づ「乳揉み」といふ專門家を頼んで、母親の乳房を揉んで貰ふのであります。これは元來乳の分泌の惡るいのは、母親の乳房に罪があると思つた

からでありませう、然し善く調べて見ますと、乳の分泌の惡いのは、案外子供の方に罪の在るものでありますが、一方子供に精出して乳を吸はすと共に、又母親の乳房を揉むのは決して惡るい事ではない。此外、母親の乳房に電氣をかけるとか溫かい濕布や冷たい濕布を乳房に當てるといふ事は試みて見るが良い方法であります。

然し、繰り返して申しました通り、子供に乳房を吸はす事は、くれ／″＼も忘れてはなりません。

小兒耳の病

小兒は、よく耳の病氣を起します。小兒の皮膚は軟弱で抵抗力が弱いものでありますから、僅かの原因に由て顏面に濕疹が出來ます、卽ち唾液や乳汁で口の周圍が濕ふてゐるだけでも濕疹が出來ますが、それを構はずに置きますと、其處が益〻不潔になつて、その刺戟の爲に濕疹を生じ、糜爛を起すやうになり、それが耳の內にも傳はることになります、併し斯樣なことはなくとも單獨に外聽道に濕疹を生ずることがあります。それは腺病質、貧血、結核、黴毒、又一般に榮養の惡い小兒に多い。慢性の中耳炎などがあつて、絕えず耳漏があれば無論濕疹を生ずることが多い。尙ほ種々の內服藥又は撒布藥などの刺戟に由て起るやうな場合もあり、小指の爪や耳搔きなどで傷をつけて、其處から濕疹の始まることもあります。

兎に角耳に濕疹が出來ますと、小兒は非常に痒がりまして、耳の邊を枕や人の胸に擦りつけ或は頭を振り睡眠を妨げられ、精神も落つかず、不機嫌になるものであります。

これは一旦治癒つたと思つても、幾度も再發する傾があつて厄介なものであります、治療法も其の場合に依て種々の膏藥をつけたり、罨法をしたり、時には內服藥も必要になりますが、手療治では益〻頑固の病症にして仕舞ふやうな虞がありますから、矢張

醫師の治療を受けなければなりますまい。
それから外聽道の癤、卽ち耳の中に小さな根太が出來ることが屢々ありますこれは、膿を造る黴菌が侵入して出來るのでありまして、耳の中の皮が軟かになり、或は小さな傷などのある所に、凡て不潔の物が這入れば出來るのであります、又糖尿病などのある場合に出來ることがあります、それから小學校に通ふ位の小兒が水泳をして耳の中に水を入れて、それから起ることが隨分多いやうであります。
この外聽道炎、特に癤と云ふものは、非常に疼痛の劇しいものでありまして、所謂ヅキン〱と搏動性に痛みまして、頭に響き、口を動かし殊に物を嚼むときに疼痛を增し、その爲に熱が出たり、食慾が無くなり、睡眠を妨げられ、乳兒は、その惡い方の耳を下にして枕させますと劇しく泣出すものであります。此の時も矢張醫師の治療を受けることが必要でありますが、疼痛の劇しい時には、耳の孔を脫脂綿で塞いで、醋酸礬土水或は硼酸水のやうな物を溫めて、綿が「ガーゼ」に浸して耳の上から溫罨法を施せば餘程緩解になるものであります。これは家で行つても害はありません。
尙ほ小兒が屢々起す耳の病氣も色々ありますが、麻疹「インフルエンヅア」、流行性耳腺炎と云ふやうな流行病や傳染病の經過中、或は其後に中耳炎を起すことが、なか〱多いものでありまして、而かもこれは往々大事に至ることがありますから油斷が出來ません。斯ういふ傳染病の時には、鼻や咽喉の內に居る病原菌がエウスタキー氏管といふ細い管を通じて中耳といふ部分に到り、其處に炎症を起して膿を作るのであります。それですから鼻や咽喉の粘膜が腫れて呼吸の具合の惡くなつた時、長い間仰臥して居る場合、又分泌物が多いのに、充分これを咯出すことの出來ないやうな事が皆、中耳炎を起す助けになるのであります。
この中耳炎は、種々の傳染病の時に起りますが、大抵その恢復期に起る場合が多い、例へば猩紅熱なれ

ば、熱も去り、凡ての症狀が無くなつて、皮膚が剝ける所謂落屑期と云ふ頃になつて、もうこれで安心と思ふ頃に、腎臟炎や中耳炎が起つて、その爲に生命を取られることが屢〻あるのであります。

凡て化膿性中耳炎と云ふ場合には、劇しく耳が痛むで、聽えが惡くなり、熱が出で、睡れなくなり、不安になり、譫語を言ふやうになり、それより周圍にも奥の方にも病勢が進むで行つて、腦膜炎の症狀で死亡することになるのであります。

それで耳の病氣はなか〱危險が多いのでありますが、世間の人は比較的これを知らない人が多いやうで、小兒の耳病には案外無頓著の人があります。これは注意を要することで、痲疹、「インフルエンヅア」の如き病氣の時にも、屢〻小兒に含嗽させなければならぬと云ふのは此處の事であります。兎に角小兒の耳の病氣は等閑に出來ぬものであると云ふ事だけを承知して置ていたゞけば宜しいのであります。

幼稚園兒童に對する口腔衛生講話

これは齒科學報の口腔衛生講演綱領中に掲げられたものゝ一節でありまして、小兒に向つて口の衛生を說くには、是非この調子でなければならぬと思ひます。

先づ最初は兒童の注意を引く爲めに謎のやうな話をしかけるか、又は兒童の中から比較的に早熟た兒を呼び出して、他の兒童の見てゐる處で齒刷子の使用法をやつて見せることと謎の話とは例へば

「玆に赤土の小山があります。その上に二十四の白い馬がアチラへ驅けたりコチラへ馳せたりして面白さうに遊んでゐましたが、見てゐる間にビツタリと頭を揃へて竝びました……皆さん何だと思ひますか」

答……それは齒であります。

こんな話をして兒童を面白がらせて置いてから、次

のやうな話を初める。

一、茲に一つの家があります。玄關からは汚い身装をした兒童がゾロゾロ這入つて行きます。皆さん其の家の中は奇麗でせうか。

二、皆さんは誰でも「口」があるでせう。そのお口は體の入口ではありませんか。若しもそのお口が汚かつたときに食べた食物は奈何でせう。キツト汚くなるに違ひありませんね。その汚い食物はドシドシ胃の方へと運ばれて行きます。體の中へ汚い物が這入れば病氣になりますよ。病氣になつたら面白く遊ぶことも出來なければ、學校へ行くことも出來ません。

三、それなら皆さんの中で學校へ來る前に顏を洗ふ人は幾人ありますか、手を擧げて御覽なさい。ハハ……皆さん顏だけは洗ふやうですね。序に口の中も奇麗に掃除をしなければいけませんよ。

四、皆さんの中で歯の痛い人がありますか、歯の痛むのは大概は齲歯があるからですよ。齲歯はお口が汚かつたり、歯が穢かつたりすると直ぐに出來るものですが、奇麗な歯は決して齲蝕に罹るものではありません。

五、最後に口腔の衛生法を簡略に話すこと。それには大きな歯刷子の模型で歯の磨き方を實示して見せること。殊に其の回數と磨歯剤の選擇に就いては充分注意して置くことが肝要である。

幼兒の好む色

東京女子高等師範學校附屬幼稚園主事安井哲子女史は、一般に幼兒は如何なる種類の色を好むか、又その好むところの色は、彼等の年齡、男女、或はその家庭の生活狀態にも何等かの關係を有するものなるかを調査する爲めに、モンテッソリー女史の色彩感覺の練習用色絲卷の中、赤、青、黃、綠、紫、橙の

六色を選び、これに依て左の如き實驗を行はれました。

第一、八等級の濃度を有する赤、青、黄、緑、橙紫の六色に就き、其最も濃き者、即ち第一等の濃度を有する者を各幼兒に示して、好むところの色を指示せしむ。

第二、第四等の濃度を有する同じ六色に就きて各兒の好むところの色を指示せしむ。

第三、第七等の濃度を有する同じ、六色に就きて各兒の好むところの色を指示せしむ。

右の實驗の結果、次の如き結論を得られたと云ふことであります。

第一、男女と其最も好む色との關係に就いて觀察するに、男兒は各年齢及第一部第二部を通じて、殆ど共通に好むところの色は青にして、女兒は共通に赤を好む。

第二、年齢の異る幼兒と其最も好む色との關係に就ては、明かなる差異を認むること難し。

第三、生活程度の異る家庭に育ちたる幼兒と其最も好む色との關係に就ては

一、生活程度の比較的高き家庭に育ちたる男兒は生活程度の比較的低き家庭に育ちたる女兒と殆ど同種類の色、即ち概して赤、青、黄及び其系統の色を好むが如し。

二、生活程度の比較的低き家庭に育ちたる男兒は、概して青、黄及び其系統の色を好むが如し。

家庭衛生

鷄卵と牛乳は案外不消化なり

病人、殊に胃腸病の病人の食物といへば、先づ第一に鷄卵牛乳と云ふのが普通であるが、近頃醫學士小久保輌比古、齋藤房雄兩氏の研究成績に依て見る

と、鷄卵も牛乳も普通世人の考ふる如く消化の良いものではないと云ふことがある。これは一考を要することであるから、其の大要を紹介致します。

●●患者食　一般患者殊に胃腸疾患の患者食として、鷄卵牛乳等を、先づ第一に推奬するを常とすれども、鷄卵牛乳共に、普通世人の考ふるが如く、消化の良好なるものに非ず、卽ち攪碎せずして其儘嚥下せられたる鷄卵は、胃液の爲めに必ず一旦、其儘固く凝固して、恰かも「湯デ玉子」の如き狀態のものを胃中に生ずるが故、再び之を消化するには、多大なる胃腸の勞力を要するは勿論なり。

●●生玉子　生玉子は恰かも粘液狀なるが故普通世人は其儘消化吸收せらるゝものと考へ、胃腸病患者に之を用うるは、最も好適の食物なるべしと考ふれども固き「湯デ玉子」を見ては、誰れしも其頗る不消化性のものたることを考ふるなるべし、而かも事實に於て生玉子を嚥下すれば、胃中に於て、胃液の爲めに一個の完全なる「湯デ玉子」の如き固形體のものを生ずと云はゞ、誰れか又、攪碎せざる生玉子を、患者食として推奬するものあらん。

●●●●●●●日本人に適する葛湯或は重湯　況んや日本人としては、廉價にして頗る消化吸收し易き、最も好適なる葛湯の如き、或は重湯の如き良食品あるに於ては、何を苦んで斯の如き不消化性の、而かも危險物たる鷄卵の如きものを用うるの理あらんや、常に米飯の如き澱粉食に習慣せる日本人に對しては、病氣になりたりとて、何を苦んで、急に不消化性の高價なる蛋白食としての鷄卵を用うるの必要あらん、宜しく安價なる可消化性の葛湯、重湯を推奬するの最も合理的にして安全なるを力說して止まざるなり。

●●●豆腐及豆乳　倘ほ日本人の患者食としては、廉價なる豆腐豆乳の如きあり、其榮養價に於ては、牛乳鷄卵と相匹敵し、其消化の良好なるは、遙かに鷄卵を超越せり、日本人としては、何ぞ必ずしも、牛乳鷄卵のみを以て、滋養物と考ふるの要あらん、豆腐豆乳可なり、葛湯重湯亦可なり、且つ現今未開地の通

弊として、牛乳を藥の如く考へ、牛乳ならば一日五勺宛食するも、非常に榮養價あるべしと考ふるものある如きは、最も其誤りの甚しきものにして、僅か五勺程の牛乳は、殆んど其榮養價の零に近きを思はざるべからず。

試みに「カロリー」により、榮養價を比較計算するに

牛乳　一〇〇瓦　約七十「カロリー」
豆腐　一〇〇瓦　約五十九「カロリー」
葛粉　一〇〇瓦　約三百二十九「カロリー」

日本人の健康者大人にて平均一日、二千五百「カロリー」の榮養價を要するものとせば、牛乳のみならば約三千六百三十瓦、即ち一升八合程の牛乳を要す、豆腐のみならば約四千二百四十瓦即ち約一貫匁の豆腐を要す、葛湯(葛湯に作る粉末)のみならば、一日約八百瓦の葛粉即ち二百匁の葛粉を要す。

五勺の牛乳は、僅かに約七十「カロリー」の榮養價なるが故、日本人一日の所要「カロリー」に比し、僅かに其數充分の一に過ぎず、五勺の牛乳に比すれば寧ろ、三十九匁の豆腐(約八十「カロリー」)六匁の葛粉(約八十「カロリー」)の、遙に其の榮養價の大なるを思はざるべからず。

(以下次號)

犬猫撲殺論

犬、猫、鼠、二十日鼠などは、家畜中にても黴菌の媒介を爲すものなる事は既に明かなる事實なるが、多くの人はこれ等家畜の經濟的方面に就きて、これを飼養し或はこれを撲殺せんと考ふれども、彼等が黴菌の運搬者なる事乃至保菌者なる事に就きては餘りに注意を拂はずとて、米國テキサス州醫學雜誌は一般の注意を喚起せしめんと論ぜるか、其一節に左の如く記しあり。

元來鼠、二十日鼠は吾人の生活に對し惡しき事は爲せども、善き事は少しも爲さず、飼ふ場所より云ふも一人の人間を住はしむるより、彼等を二三匹飼ふ方遙に高價にして、且つ彼等には疾病撒布といふ最

も厭ふべき害あり。されば必要に應じて彼等の驅除法を講ずべきものなり。近頃ニューオルレアン其他二三の都市が斷然これを實行するに至りたるは喜ぶべき事なるが、この實行に至りたるは二個の理由なり。そは米國式にて頗る面白し。即ち第一は鼠等のある時は經濟上大損失なりといふ事、第二は彼等は刑罰を加へらるべき義務を有すといふにありき。やがては鼠、二十日鼠の居る市は市の恥辱なりと云はるゝに至るや必せり。されど以上は鼠、二十日鼠に關する事のみなるが、犬、猫に就きては毫も言及せられざるは物足らぬ心地ぞする、彼等は人間に愛せらるゝ家畜なるだけそれだけ一方には鼠、二十日鼠よりも惡しき點あり、彼等は多くの家庭に自由に接近するのみならず、婦人小兒にも抱かれ接吻され、共に嬉戲さるゝものにして、こは彼等が保菌者なる時と否とを選ばざるなり、さらば犬、猫は清潔なる動物なりやと問ふに實際は頗る不潔なるものなり、殊にその口、その脚の如きは甚だし、この脚にて彼等は衞生上如何なる危險區域といへども彷徨しその口は如何なる不潔物にても口を附けざれば止まず、而してその口、その脚にて家庭に入りて多くの人に抱かれ、又接吻さるゝなり。あゝ養ふにかく高價にして、飼ふにかく危險なる動物を、わが神經質なる人には何とてそのまゝに飼ひ置くにや。云々

結論として同誌はかく無用有害なる動物は醫師の力によりて驅除する運動を起されん事を望む旨を記るせり。說は聊か突飛なるが如くなるも、一理あるの說なるに相違なし。

抄錄

○日本人の最も多く死ぬ病氣

三宅秀述（家庭新聞）

四十四年度末推定人口五千百十一萬九千二百人であ

つて前年より六十二萬千六百人を增す、千人に付いて增殖の率は一二、一四である故に〇・二七を增して居る四十三年度の出產總數は百八十七萬二百四十九人にて前年より一萬四千八百二十三人を增して居る。

中生產は百七十一萬二千八百五十七人にて一萬九千七人を增して居る、死產は十五萬七千三百九十二人にて四千百八十四人を減じて居る、死亡は百六萬四千二百三十四人にて三萬五千六十三人を減ず、但十年間の平均は百萬七千二百五十九人なれば之に比較すると五萬六千九百七十五人を增して居る。

人口百に付いて生產三・三九%なれば前年と增減なし、但平均は三・二三%なれば〇・一二%を增して居る人口百に付いて死亡は二・一一%なれば〇・〇八%を減じて居る、二・〇八%となる平均に比すれば〇・〇三%を增して居る。

死亡病症に依つて其主なるもの即ち五萬人以上の死亡あるものを揭ぐれば肺結核は八萬二千六百五十二人であつて二十九を增して居る、腦膜炎は六萬九千八百三十一人であつて三千二百二人を減じて居る、腦出血及腦軟化は六萬三千三十四人にて二千七百六十四人を減ず、肺炎及氣管枝炎は六萬九千八百八十八人にて七百八十八人を減ず、胃の疾患は、五萬千九百十四人にて五千百四十人を減ず、下痢及腸炎は十萬四千八十六人にて四百五十八人を增す畸形及先天性弱質は五萬三千七百五十一人にして五百十九人を增す老衰は五萬九千百十七人にして三百七十人を減ず、診斷不明の症は五萬八千二百四十二人にして三千七百五十人を減ず、以上症病に依つて年に增減があるけれども、或る年、增したのを見て直ぐに斷案を下すことは出來ぬ、故に此病症に依つて增減のあるのは格別恐るゝにも足るまい、唯肺結核の爲め病死が聊か減じて居るやうであるが、是は追々減ずるやうになりたいと望む譯である。



雜報

○聯合國傷病兵へ御下賜

皇后陛下には、今回聯合國傷病兵罹災者慰問會の事業御補助の思召を以て、同會に對し金十萬圓御下賜の御沙汰ありたり。

○東京盲學校へ行啓

皇后陛下には五日小石川區雜司ケ谷なる東京盲學校に行啓あり、盲學校へは最初の行啓とて餘ある光榮に奉迎の設備名殘なく整へ男女生徒校庭に奉迎し、町田校長以下の職員岡田文相夫妻、田所次官以下の參校者は御車寄に並び、陛下には午前九時宮城御出門、千種典侍の陪乘、大森大夫以下に供奉にて同五十分著御あり、樓上音樂堂にて御少憩中職員生徒名簿等を受けさせ文相以下に拜謁を賜ひて後各教室を御覽あり、陛下にては普通科第一年の理科（直觀教育）、第二年の理科手探りにて富士山、不忍池二重橋の模型を謹製する樣、第三第四年の東京道路の地理、第五年の地理、第五年の國語師範科、鍼按科の病理學、按摩「マッサージ」實習、専習科の點字印刷練習等薄倖なる生徒の受業の樣、階上なる教育用具、生徒成績品、統計其他にも仔細に御目を止めさせられ、校長の御説明にも御傾聽あり、御少憩後、間もなく講堂に進ませ給ふ、多くの盲生正しく整列して、見えぬ眼にも涙を湛へ尊き御姿を迎へ奉り、陛下には吾ケ代の合唱中特に御起立あり御座に著かせられて後、高等科卒業生池田てふ、三宅正子、市原ちひろ教員萩原松韻の四名小出教師に手を曳かれつゝ御前の樂器に進み大典奉祝の「御代の光」を奏し、師範科三十名は「櫻井驛」「學」の二曲を合唱し、陛下には御感淺からず、御少憩の後學校へ一封の御下賜金あり午後零時十分各員の奉送裡に女子大學へ成らせ給へり。

○新女醫

醫術開業試驗規則廢止後本年始めて擧行せし第一回醫師試驗に應せし日本醫學專門學校及び女子醫學專門學校卒業生にて合格せし者三十九名、其内男子十二名、女子二十七名ありたり。

○東京府産婆試驗

東京府にては去九日より管内の産婆試驗を開始せるが志願者は學說九百三十九人、實地二百四十人にて、前者に三組に分ち、各組二日間宛の割にて十四日に修了し、後者は十七日より五月に亙り施行する豫定なり。

○東京府看護婦試驗

東京府にては去五日本年度五百十一名の看護婦試驗應募者中二百五十名に對して檢定試驗を執行せり、尚ほ殘部二百六十一名の試驗は來る二十日執行する由、昨春の志願者は四百名にて、本年は百十一名の增加なり、受驗者の年齡は十五六年以上二十六年以下なりと。

○月島の天然痘

去る一日午前一時京橋區月島鐵管堀に碇泊中の船中にて三歲の小兒死亡せるが、係官出張して檢視の結果天然痘と決定せり、該船は三月十八日橫濱を出帆し、十九日芝浦に著き、二十日八丁堀に來り、二十一日より三十一日迄神田川筋美倉橋の下流に碇泊し、夫より前記鐵管堀に至りしものにて、水上署にては數日前より天然痘豫防の爲め各船に向つて種痘の勵行勸誘中發見せるものにて尙引續き豫防方法を講じつゝありたるが、去る八日に至り京橋區月島通に於て八歲の女兒發病、十六日午後天然痘と決定駒込病院に送り、一方附近數戶の健康診斷を行はれたり。

○兒童の衞生思想養成案

嚢に東京市に開かれたる第十二回關東聯合教育會に於て『小學校兒童の衞生思想を養成せんが爲め最も適切と認むる事項如何』といへる文部省よりの諮問に對し同會議長並に東京府教育會長岡部長

職子より左の如く答申せりと云ふ。

教授方面

一、國民體力が國家富强の原動力たることを知らしむること

二、現行小學校の敎材中生理衛生に關する事項に付特に敷衍補足すること

三、幻燈繪畫標本等に依り講演を行ひ以て衛生思想を高むること

四、生理衛生病理に關する標本繪畫等を陳列して兒童に觀覽せしむること

五、特に公衆衛生の尊重すべき事を知らしむる事

實行方面

一、武術的體操を奬勵すること

二、學校體操竝に各種の運動遊戲を鼓吹すること

三、學校消毒法淸潔法に注意せしめ敎師自ら實行すること

設備方面

一、校舍校具竝に運動場の改善を圖ること

二、運動遊戲等の器具を改善新設すること

雜件

一、學校醫の職務規定を改めて其待遇を高むる事

二、學事關係者をして學校衛生に關する事項に注意せしむること

三、家庭をして兒童衛生に留意せしむること

廣告

○婦人衛生會例會

本月九日午後一時半より本鄉區お茶の水高等女學校附屬作樂館に於て本會例會を開き、宇都野學士は種痘に就き、實際家庭に於て注意すべき種々の事柄を、學說及び自家の經驗上より懇々說明せられたり。次で茂木博士は佛蘭西滯在中に見聞せられたる所に依り、特に婦人に關し、又衛生に關し、延いて日本婦人の大に覺悟を要することを切言せられたり。右了つて一同に茶菓を供し、歡談の後散會したるは四時過なりき。當日の出席役員は左の如し。

鍋島會長　濱尾副會長　菊地峯子
守屋千代子　小川孝子　近藤憲子
緒方悅子　宮本樂子　三浦敎子
高木鎌子　岡山さし子　吉岡彌生
天野多喜子　田村淸子
山口貞子　入澤常子　（以上出席順）

○入會者

○守屋千代子紹介
芝區神谷町三十三　特別　横山ハルヱ子

○武富須美子紹介
府下中澁谷六百八十一　通常　市川光子

○事務所申込み
大分縣醫務部　通常　東海林豐治
北海道空知郡歌志内村字西山　通常　方波見きん子

○轉居

府下より山梨縣北都留郡上野原町へ　島崎愈子
鹿兒島より鹿兒島市淸水町二十一へ　島津治子

私立大日本婦人衛生會役員氏名

總裁 東伏見宮妃周子殿下

會長 侯爵夫人 鍋島榮子

副會長 男爵夫人 濱尾作子

（いろは順）

幹事 鳩山作子
同 岡田德子
同 山本多標子
同 松平芳子
評議員 入澤常子
同 濱田捨子
同 仁禮壽賀子
同 土肥多越子
同 岡山とし子
同 男爵夫人 加藤鈴子
同 吉岡彌生子
同 高橋孝子
同 武田貞子
同 男爵夫人 南部閑子
同 山口貞子
同 古市幸子
同 近藤蕊子
同 天野多喜子
同 菊池茅子
同 宮本槃子

同 長谷川伸子
同 高木鐐子
同 三浦敬子
同 羽田三緒子
同 服部繁子
同 西絆子
同 緒方悦子
同 小川孝子
同 片山龜子
同 丹波貞子
同 田村きよ子
同 鶴原誠子
同 中濱芳子
同 子爵夫人 松井正子
同 小松いさ子
同 伯爵夫人 阿部篤子
同 岸澄子
同 三宅藤子
同 守屋千代子

婦人衛生雜誌代價及廣告料

代價

一冊 定價金貳拾錢 郵税壹錢
三冊（三ヶ月分） 前金郵税共 金四拾五錢
十二冊（一ヶ年分） 前金郵税共 金壹圓八拾錢

廣告料

一頁六十二行 一行二十三字
壹頁 金五圓 半頁 金貳圓五拾錢
○特別廣告 壹頁金拾圓 半頁金五圓
○半頁以下行數ヲ以テ計算スルモノハ一行貳拾五錢

規定

○本誌講讀申込ノ節ハ前金三ヶ月分以上本會事務所ニ送附セラルベシ但シ見本ハ郵券ニテ貳拾錢代用苦シカラズ○本誌休讀ノ節ハ速カニ報知セラルベシ通知ナキ分ハ講讀者ト見做ス但シ後金ニハ割引ナシ○轉居ノ節ハ新住所通知セラレタシ

大正六年四月十七日印刷
大正六年四月二十日發行

東京市本郷區駒込千駄木町五十八番地
編輯兼發行者 莊司秋次郎

東京市本郷區駒込林町百七十二番地
印刷者 櫻井新三郎

東京市本郷區駒込林町百七十二番地
印刷所 杏林舍

東京市本郷區駒込林町二番地
發行所 私立大日本婦人衛生會事務所

賣捌所
東京市本郷區龍岡町 吐鳳堂
同市銀座四丁目 東海堂
同市京橋區鈴屋町 良明堂
同市本郷區本富士町 明文館
同市同區春木町 南江堂支店
京都市寺町二條南入 若林茂一郎
東京市日本橋區呉服町 北隆館
同市神田區表神保町 東京堂
同市本郷區本富士町 盛作堂
名古屋市榮町六丁目 丸善書店

鈴木農學博士製造監督
秦醫學博士檢定證印

アルサミノール
ネオアルサミノール

アルサミノール

〇・一瓦	一、〇〇
〇・二瓦	二、〇〇
〇・三瓦	三、〇〇
〇・四瓦	四、〇〇
〇・五瓦	五、〇〇
〇・六瓦	六、〇〇

ネオアルサミノール

〇・一五瓦	一、二〇
〇・三瓦	二、四〇
〇・四五瓦	三、六〇
〇・六瓦	四、八〇
〇・七五瓦	六、〇〇
〇・九瓦	七、二〇

東京室町
三共株式會社

アルサミノール及ネオアルサミノールはエールリヒ博士と共に六〇六號發見の名譽を擔はれたる秦醫學博士に依りて一々嚴密なる動物試驗を行はれ同博士の責任證印を得たるものに限り發賣に供するが故に使用上絕對に安全なり。

アルサミノール及ネオアルサミノール
靜脈內注入器（函入）



▼內容品目、價格表贈呈す。